



「Kwansei コンピテンシー」に 基づく学修成果の 可視化

～卒業後の人生まで
射程を伸ばした
効果検証の取り組み～

‘14-’24 スーパーグローバル大学
創成支援

関西学院大学「グローバル・アカデ
ミック・ポート」構想における質保証

2023年7月15日

関西学院大学

総合企画部・IR室

- ◆ 14学部・14研究科
- ◆ 学部学生数 24,314人
大学院学生数 1,365人
- ◆ 専任教員 773人
- ◆ 海外協定校数 282校 (57ヶ国)

- ◆ 1889年 神戸・原田の森に創立
1929年 西宮・上ヶ原に移転

幼稚園から大学・大学院までを擁する総合学園。

キリスト教に基づく全人教育 (intellectual and religious Culture)を理念とし、
この理念を具体的に示すものとして、

スクール・モットー“Mastery for Service” (奉仕のための練達) がある。

- ◆ 近年の採択事業

平成23年度 「大学の世界展開力強化事業」

平成24年度 「グローバル人材育成推進事業」タイプA (全学推進型)

平成26年度 「スーパーグローバル大学創成支援」タイプB

平成28年度 「文部科学省大学入学者選抜改革推進委託事業」

令和03年度 「文部科学省DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」



“Mastery for Service”

(2023年5月1日現在)

- 関西学院大学が考える質保証の枠組み
 - 1) 改めて「何を保証すべきなのか」
 - 2) 多様な学びで獲得する「Kwansei コンピテンシー」
 - 3) 教育効果としての「真に豊かな人生」

- 各種調査結果から見えてきたこと
 - 1) 「Kwanseiコンピテンシー」の獲得状況（正課、準正課、正課外）
 - 2) 「Kwanseiコンピテンシー」と「真に豊かな人生」の関係
 - ① Well-being（職階、年収等）の観点から
 - ② スクールモットー“Mastery for Service”の観点から
 - 3) 大学での多様な学びと「真に豊かな人生」の関係

関西学院大学が考える質保証の枠組み

1) 改めて「何を保証すべきなのか」



教育OSの刷新「ダブルチャレンジ制度」



協定に基づく海外派遣学生数日本一



国連・国際機関等へのゲートウェイ創設



国際通用性のある質保証システム構築



ガバナンス改革による総合的マネジメント実現



ミッションステートメント

Mission Statement

Kwansei Gakuin, as a learning community based on the principles of Christianity, inspires its members to seek their life missions, and cultivates them to be creative and capable world citizens who embody its motto, "Mastery for Service," by transforming society with compassion and integrity.

関西学院は、キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」として、ここに集うすべての者が生涯をかけて取り組む人生の目標を見出せるよう導き、思いやりと高潔さをもって社会を変革することにより、スクールモットー“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育むことを使命とする。

スクールモットー “Mastery for Service”

School Motto “Mastery for Service”

“Mastery for Service,” the school motto of Kwansei Gakuin reflects the ideal for all its members to master their abundant God-given gifts to serve their neighbors, society and the world.

関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”は、「奉仕のための練達」と訳され、隣人・社会・世界に仕えるため自らを鍛えるという関学人のあり方を示しています。

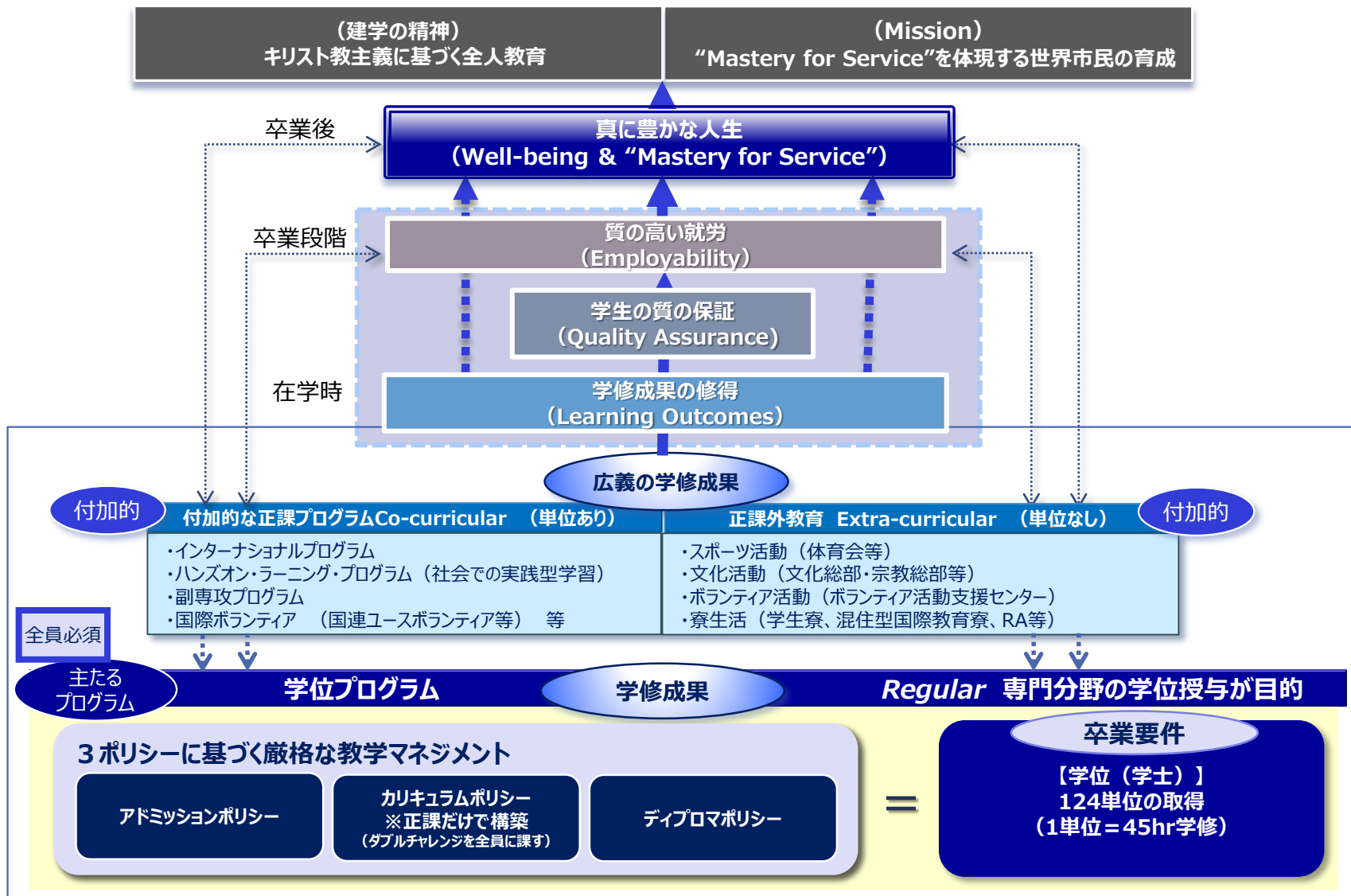
【Constitution of the Kwansei Gakuin (1889年)】

Article II. Object.

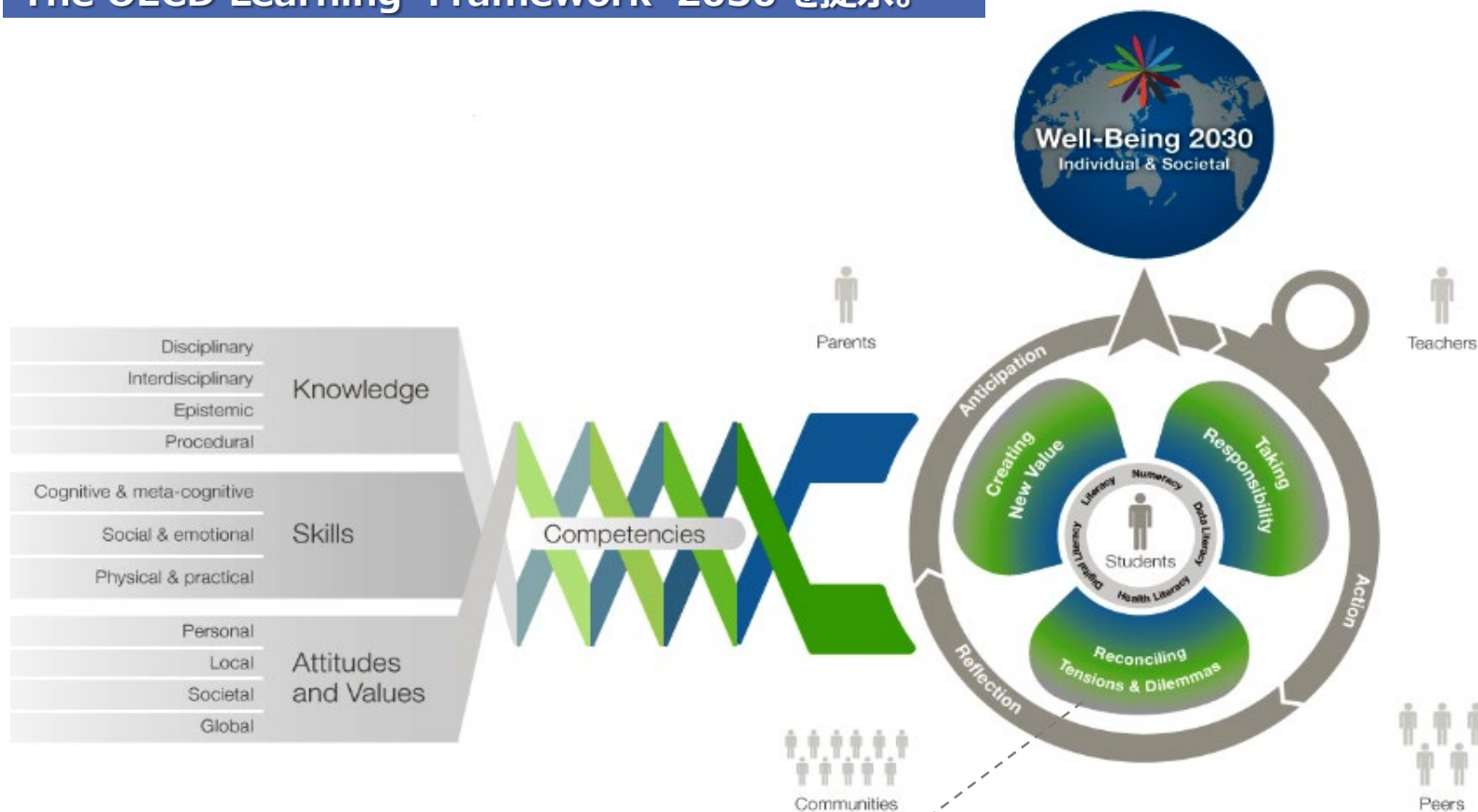
The object of this institution is the training of chosen young men for the Christian Ministry, and **the intellectual and religious culture of Japanese youth in accordance with the principles of Christianity.**

【創立時（1889年）の関西学院憲法】

第二款「本学院ノ目的ハ、基督教ノ伝道ニ従事セントスル者ヲ養成シ、且ツ基督教ノ主義ニ拠リテ日本青年ニ智徳兼備ノ教育ヲ授クルニアリ」



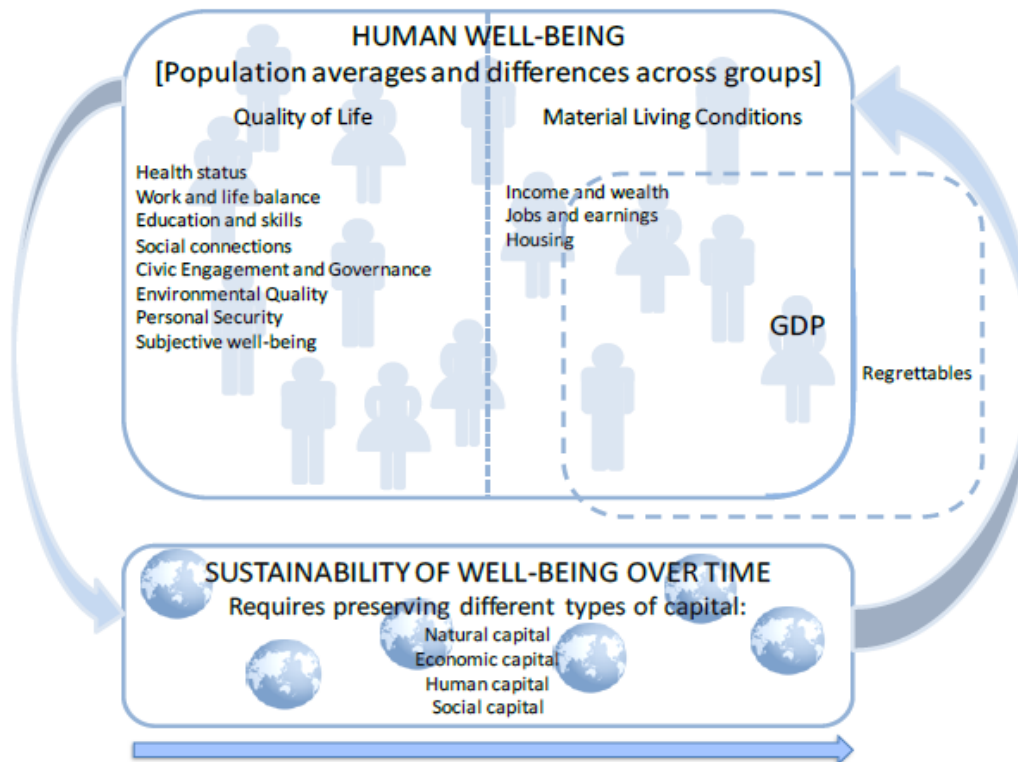
OECD「Education2030」プロジェクトは2018年に
The OECD Learning Framework 2030 を提示。



Reconciling Tensions and Dilemmas
価値観の対立・葛藤とジレンマ（板挟み）を調和・調整する。

V14 | OECD Learning Framework 2030

Figure 1. Framework for OECD well-being indicators



“Compendium of OECD Well-being indicators”より

職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力

前に踏み出す力（アクション）

一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力（シンキング）

疑問を持ち、考え抜く力



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

チームで働く力（チームワーク）

多様な人々とともに、目標に向けて協力する力



発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性

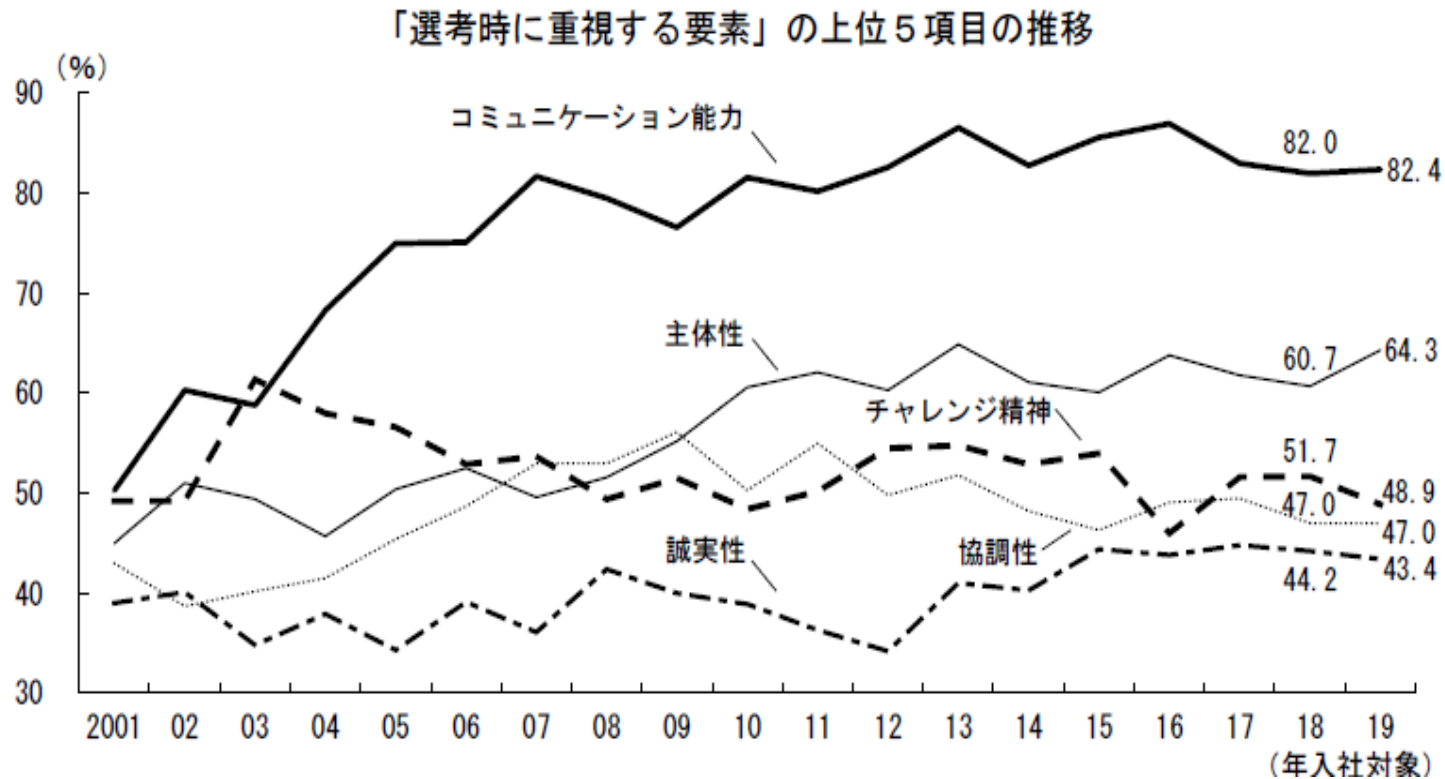
社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力

ストレスの発生源に対応する力

企業が採用選考時に重視する要素

「2018年度日本経済団体連合会新卒採用に関するアンケート」(経団連)



「コミュニケーション能力」が第1位（16年連続）、「主体性」が第2位（10年連続）となった。「チャレンジ精神」は、前年に比べて2.8ポイント低下したものの、3年連続で第3位となった。

「学士課程教育の構築に向けて」（中教審答申、2008年）

各専攻分野を通じて培う「**学士力**」

～学士課程共通の学修成果に関する参考指針～

1. 知識・理解

専攻する特定の学問分野における基本的な知識を体系的に理解（多文化の異文化に関する知識の理解，人類の文化・社会と自然に関する知識の理解）

2. 汎用的技能

知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な技能（コミュニケーション・スキル，数量的スキル，情報リテラシー，論理的思考力，問題解決力）

3. 態度・志向性

自己管理力，チームワーク・リーダーシップ，倫理観，市民としての社会的責任，生涯学習力

4. 統合的な学習経験と創造的思考力

自らが立てた新たな課題を解決する能力

関西学院大学が考える質保証の枠組み

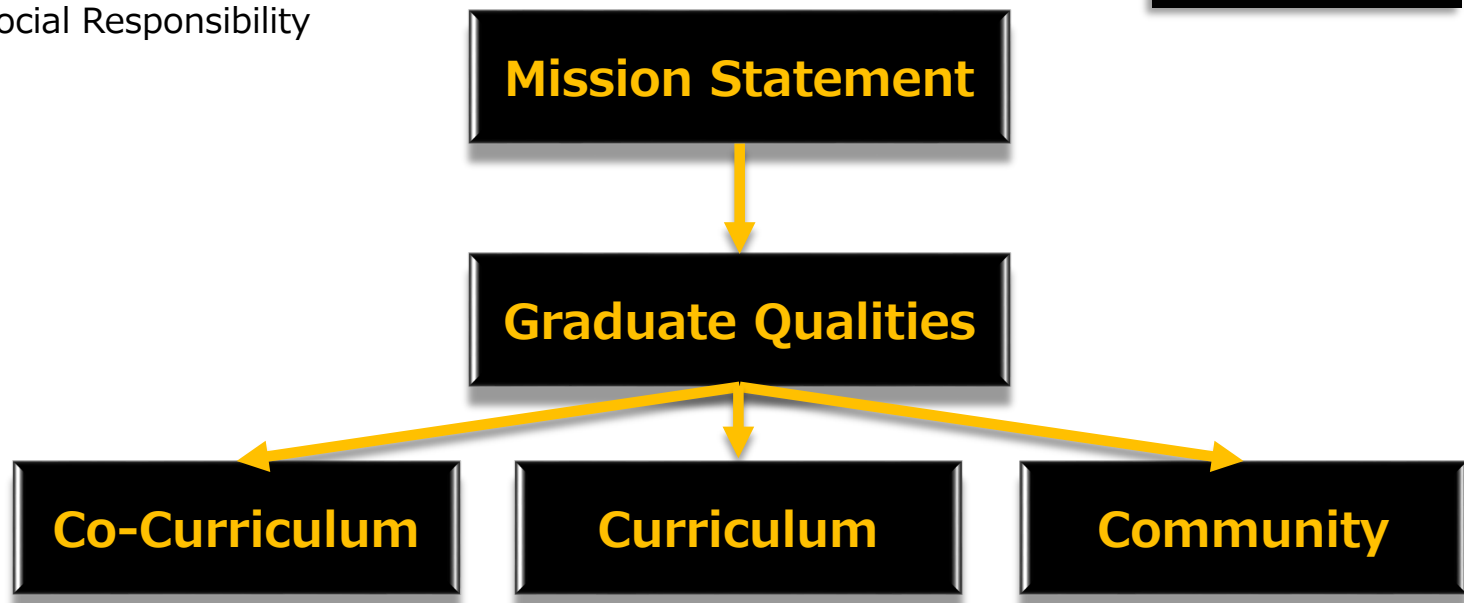
2) 多様な学びで獲得する「Kwanseiコンピテンシー」

ウースター大学の考える「Graduate Qualities (卒業生の質的要件)」

Wooster's Graduate Qualities:

The personal and intellectual capacities of our students

- Independent Thinking
- Integrative and Collaborative Inquiry
- Dynamic Understanding of the Liberal Arts
- Effective Communication
- Global Engagement and Respect for Diversity
- Civic and Social Responsibility



Henry Kreuzman ; Department of Philosophy, Dean for Curriculum and Academic Engagement
(米国大学視察の際の発表資料より)

正課と課外活動を組み合わせる教育モデル

- ・プリンストン大はU.S.News & World Report, National Universities Ranking 1位
- ・90%が課外活動（音楽、演劇・ダンス、自治会、スポーツ、新聞・文芸、宗教活動等）を経験して卒業する。
- ・16時半から19時半は課外活動の時間として授業を開講しない。
- ・“Education through Athletics” 38競技のクラブに1100人（22%）が所属。

「学生は正課と課外活動によって世界的市民・指導者として成功するための中核的なコンピテンシーを発展させます。リーダーシップ、人前で話す力、多様性の理解と受容、チームワーク、バランス、自分の限界の突破、成功に安住しない継続的な学習・成長・前進、指導する仕方・される仕方、失敗の克服などです」

「プリンストン大学はキャンパスでの生活を、大学の統治構造の中で教育の使命と別ものとして扱うのではなく、教育モデルの中に組み込みます。このことによってプリンストン大学は、[通常の教室での授業である]正規カリキュラムと[スポーツ・音楽のクラブ活動やボランティア奉仕活動など]課外カリキュラムの間のすべての側面の橋渡しと、指導力、市民性、個人としての成長、知的・文化的多様性への敬意を養う機会を与えてくれる教育コミュニティづくりを支援します」

（プリンストン大体育局副局長 アリソン・リッチ氏）

シンポジウム「プリンストン大学と考えるグローバル人材の育て方」（2015年3月19日）より
<https://gap.kwansei.ac.jp/activity/2015/attached/0000077155.pdf>

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としています。その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身に付けるべき知識・能力・資質を「Kwanseiコンピテンシー」と定め、これを大学の教育に通底するものとして位置づけます。

「Kwanseiコンピテンシー」は、各学部の教育課程やそれを補完する全学科目等の「正課教育」だけでなく、クラブでのスポーツ・文化・芸術活動、ボランティア活動、寮生活等の「正課外教育」、さらには友人関係、教員・職員との交流、キャンパスの豊かな自然も含めた大学の多様な「環境」によっても育まれます。

【知識】

幅広い知識・深い専門性
多様性への理解

【能力】

論理的な思考力
主体的に行動する力
生涯にわたって学び続ける力
豊かな人間関係を築く力
対立する価値を調整する力

【資質】

困難を乗り越える粘り強さ
より良い社会に変革する情熱
誠実さと品位



関西学院大学が考える質保証の枠組み

3) 教育効果としての「真に豊かな人生」

The New College Scorecard



大学に関して「卒業できそうか」「卒業後にいい仕事につけるか」「ローンを払いきれぬか」等の点から授業料に見合う価値があるかについて明確で信頼できるデータを誰もが自由に見られるようにすべきだ。

学位取得者数の増加は、オバマ大統領の経済成長戦略の要の1つである。大統領は「伝統的な大学ランキングは、余計な投資を促して学費が上がった」と批判。**Student Outcome**に基づいて大学を比較できる仕組みとして、「College Scorecard」を2015年9月に刷新した。

「教育投資に見合った最大限の効果を」→ **重要な指標：投資に見合った収入 Return On Investment**

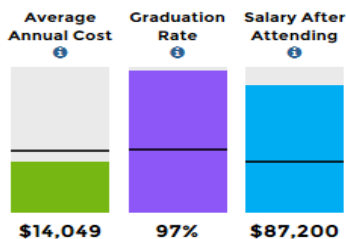
新たな重要指標

学費等平均コスト

卒業率

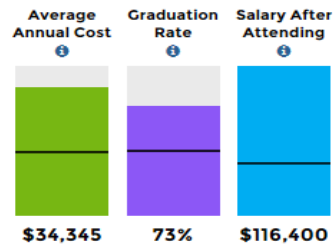
卒業後の平均収入

Harvard University



— National Average

MCPHS University



— National Average

上記指標によって各大学を比較することができる

各大学の公開データは、①学費等コスト、②卒業率、③ローンデフォルト率、④債務率、⑤雇用の状況であったが、今回のリニューアルで、**各大学を特徴づけるStudent Outcome**を示すもっとも信頼性の高い包括的なデータとして、①卒業生の年収、②卒業生の債務状況、③貸与奨学金受給者の返還率を上げている。

“The White House Press Office”の発表概要から

新カレッジスコアカードは、異なる大学の教育の“価値”を考えるための新たな視点を提供した。現在のランキングと併せてじっくり吟味することで、各大学が提示すべきことをより包括的な一つの絵に描くことができるようになった。

「The Atlantic」

“Obama’s New Scorecard Flips the Focus of Ranking”より

ギャラップ社とパデュー大による長期的な教育効果の検証

長年にわたり、学位の価値は、**大学教育の最も重要な成果**によってではなく、仕事・卒業の比率や卒業生の年収等の最も簡単に測れる方法によって決められてきた。これらの測定方法にも長所があるものの、それらの指標は卒業生の人生を包括的に把握する視点を提供していない。これらの成果は大学の使命を反映しておらず、学生が大学に進学する多様な理由を反映できていない。

ギャラップ社とパデュー大学は仕事と人生を追跡して**卒業生の長期間な成功を検証するための指標**を開発した。この指標は、卒業生がその後によき仕事よき人生を歩んでいるかどうかとパデュー大学での経験との関係性について洞察できるようにした。（Introductionより）

GREAT JOBS: WORKPLACE ENGAGEMENT 職場での意欲の高さ

Engagementの概念は仕事の満足度以上のものであり、就業者が、「仕事が好き」「得意なことをできている」「自分の成長を見守ってくれている人がいる」といった理由によって、知的かつ感情的に会社（組織）や仕事のチームと結びついていくかを含んでいる。

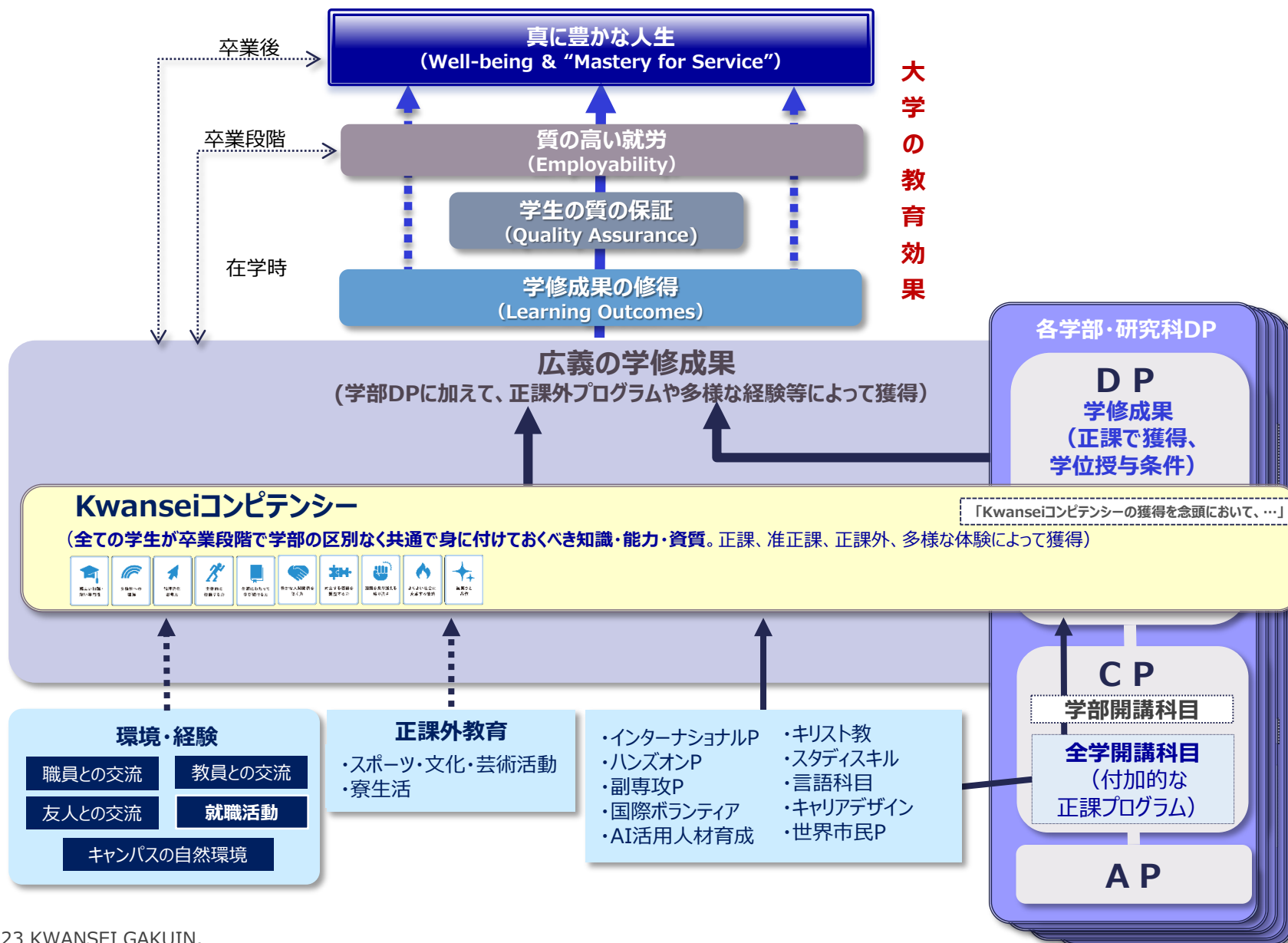
GREAT LIVES: WELL-BEING 人生の豊かさ

Well-beingの概念は単に幸せや財政的な豊かさだけでなく、身体健康だけでもない。日々の仕事や人との交流の中で充足感を得ることや、社会的な人間関係の強さ、財政的な安定、身体健康、コミュニティへの参画など生活の多様な面での人的交流・相互関係に関するものである。

GREAT EXPERIENCE: ALUMNI ATTACHMENT 母校への愛着

卒業生の母校への現在の愛着心を測る。学生時代（学士課程）の経験の回想と、今の母校をどう見ているかの両方から、卒業生の母校に対する感じ方を評価する。

DPとKwanseiコンピテンシーの関係



全ての学部のDPを、“Kwanseiコンピテンシーの獲得を念頭においた”設定に…（2019年度～）

【社会学部】

Kwansei コンピテンシーの獲得を念頭において社会学部のディプロマ・ポリシーを以下のとおり定める。

1. [態度・関心] 建学の精神にもとづく態度と社会・文化・人間への関心
 - ① 自らを律する主体としての強さを身につけ、それにもとづいて、他者と協力してよりよい関係や社会を築くために貢献しようとする基本的な態度を身につけている（スクールモットーである“Mastery for Service”の態度）。
 - ② 現代社会やそこに生きる人間、そして異なる文化に深い関心をもち、生涯にわたって学び、考えていこうとする意欲をもっている。
2. [知識・思考] 社会学を核とする幅広くかつ系統的な知識と思考力
 - ① 社会学を核とする幅広くかつ系統的な知識を身につけ、現代社会やそこに生きる人間が抱える問題と解決に向けての実践について理解するとともに、グローバル化にもなる社会現象や諸問題についての知識を身につけている。
 - ② 社会的な視点と思考力（社会学的想像力）を身につけ、論理的かつ実証的な思考や判断ができる。
 - ③ 社会調査の実践的な意義を理解し、社会調査についての基本的な知識を身につけている。
3. [技能・表現] 実践的なジェネリック・スキル（汎用的技能）
 - ① 生涯にわたって学習するための技能（ICT を用いた情報収集・分析・評価の能力、論理的・批判的な思考能力、数量的スキル、表現・伝達能力など）を身につけている。
 - ② 日本語および一つ以上の外国語によって、的確に理解（読み・聞き）し、わかりやすく表現（書き・話す）するためのコミュニケーション・スキルを身につけている。
 - ③ 社会調査についての基礎的な技能を身につけている。
4. [統合的能力] 総合的学習成果としての課題解決能力
上記1～3の学習成果を総合的に活用して、自ら課題を発見し、その課題を社会的に分析・解決することができる能力を身につけている。

【理学部】

「Kwansei コンピテンシー」の獲得を念頭において、理学部各学科の学位授与の方針（DP）を以下のとおり定める。

【数理科学科】

数理科学科は、自然科学ならびに科学技術のあらゆる分野に重要な役割を果たす数学に関して、理論と応用の両面から教育と研究を行い、柔軟で論理的かつ創造的な思考能力を備えた人材を養成する。

よって、以下のような知識と能力を有する学生に「学士（理学）」の学位を授与する。

1. [関心・意欲・態度] 自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢
 - (1) 自らを律する強さと高い倫理観をもち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。
 - (2) 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲をもっている。
2. [知識・理解] 幅広い知識と深い専門性
 - (1) 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。
 - (2) 数理科学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。
 - (3) 数理科学分野における基礎的な技能を修得している。
 - (4) 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識及び柔軟な思考力を有している。
 - (5) 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展がもつ意義を理解している。
3. [技能・表現] 実践的な学習技能とコミュニケーション力
 - (1) 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。
 - (2) 日本語及び英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。
4. [思考・判断] 課題解決のための総合的思考・判断力
 - (1) 現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力及び課題解決能力を身につけている。

学修成果検証のため、2017年度から「入学時調査」「学生調査」「学修行動と授業に関する調査」「卒業生調査」をすべて回答者が紐付く記名式で実施。

2018年度に定められた「**Kwanseiコンピテンシー**」を調査項目として取り入れるなど、調査項目の見直しを行った。

2018年度卒業生から、新たに「**卒業時調査**」を実施した。

2019年度から、「**卒業生調査**」の対象を現役を退く世代の卒業後56年目まで拡大して実施した。

在学時調査



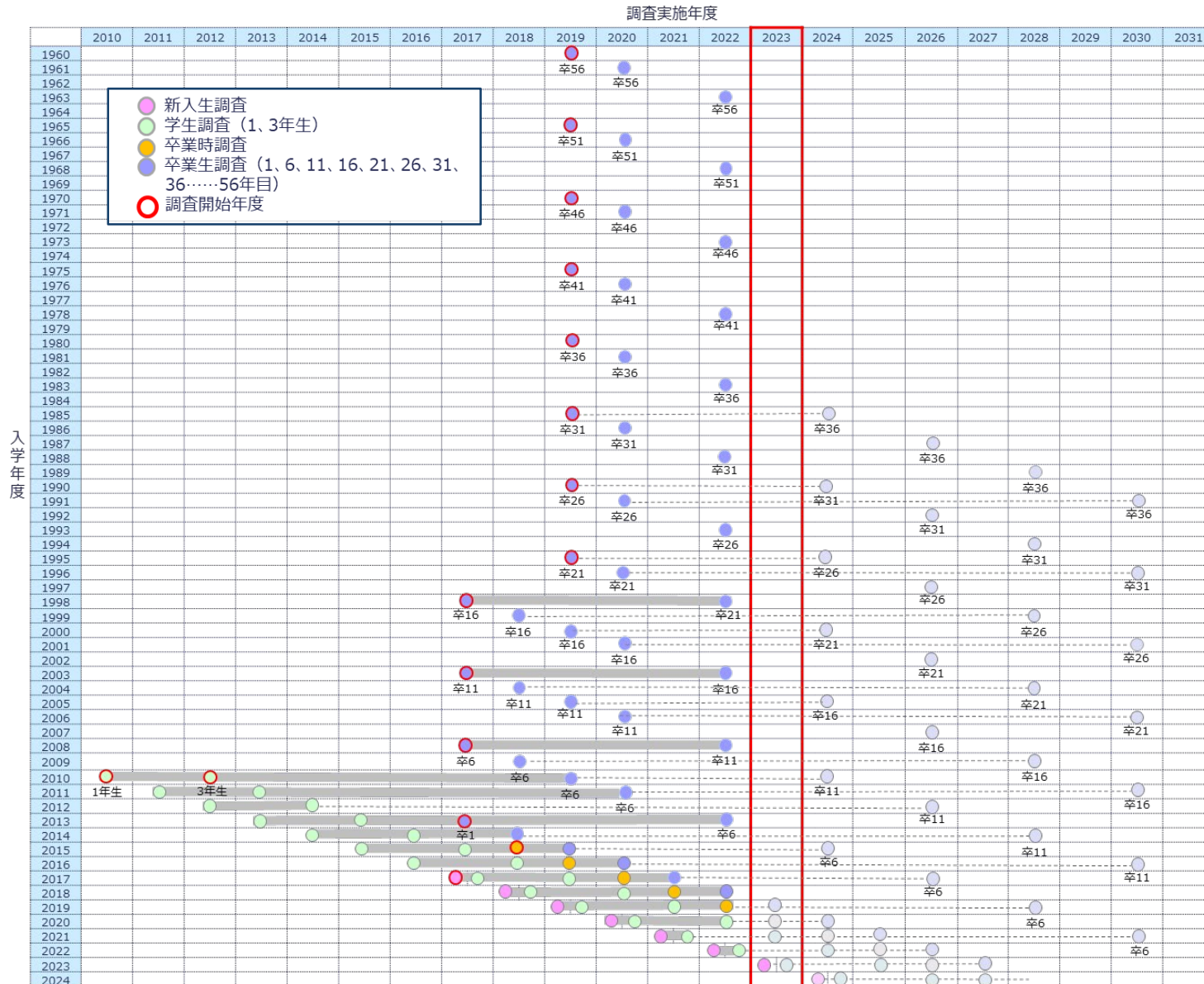
卒業後調査



大学教育の長期的効果検証の仕組み（アセスメントマップ）【ご参考】



効果検証指標のデータの有無【ご参考】



各種調査サマリ【ご参考】

調査名称	新入生アンケート			学生調査						卒業時調査			卒業1年目調査			卒業生調査			学修行動と授業に関する調査			
	2017年度新規実施			(1年生調査)			(上級生調査)			2018年度新規実施						(2019年度調査対象拡大)						
実施目的	高校までの経験や今後の大学生活で取り組みたいこと、現時点の考えなどを聞く。回答内容に応じて、大学の関連部署からの案内等を送ることもある。			学生自身に大学生生活を自己評価してもらい、各大学における教育の成果を測定することを目的とする。教育の質を客観的に保証するとともに、更なる教育改善の方策を見出す。						長期戦略・実施計画帳票1-(1)-④「卒業生/卒業時調査の企画・実施」にもとづく。在学時の「学生調査」、卒業後の「卒業生調査」に加え、卒業段階での学修成果の状況を把握する。			長期戦略・テーマ8-(2)「Evidence-based Managementの推進」の実施計画②「IR機能の充実と推進」にもとづく。卒業後の長い人生にわたって「真に豊かな人生」を送っているかを測る。			教員の授業改善、全学における組織的な改善に加え、「受講生の学修行動・成果の振り返り」に活用する。						
調査期間	2017	4/3~4/21		10/16~11/17						8月上旬~9/30			6/23~7/14、12/6~1/13									
	2018	4/1~4/17		11/12~11/30			卒業式当日			8月上旬~9/30			6/25~7/13、12/7~1/11									
	2019	4/3~4/19		10/25~11/18			卒業式当日			12/10~1/10			6/25~7/15、12/6~1/10									
	2020	4/1~4/17		10/12~11/8			卒業式当日			12/7~1/10			6/25~7/5、12/9~1/12									
	2021	4/1~4/16		11/1~11/30			卒業式当日			12/6~1/10			6/25~7/15、12/10~1/18									
	2022	4/1~4/17		11/1~11/30			2/17~3/20			12/9~1/20			7/8~7/26、12/13~1/19									
	2023	4/1~4/23																				
調査間隔	毎年			毎年						毎年			毎年(2020年度より卒業生調査は隔年)			毎年(春学期、秋学期)						
調査対象	当該年度の新入生全員			全学部1年生			全学部3年生			当該年度の卒業生全員			卒業1年目の卒業生			卒業6・11・16・21・26・31・36・41・46・51・56年目の卒業生			全授業、全受講者			
標本サイズ	悉皆			悉皆						悉皆			悉皆			悉皆						
記名・無記名	記名			記名						記名			記名			記名						
調査方法	Web			マークシート (2022年度~Web)						質問紙 (2022年度~Web)			質問紙 (2022年度~Web)			マークシート (2020年度~Web)						
質問数 (大問)	2017	6問		40問			36問						40問			19問						
	2018	9問		40問			39問			7問			46問			48問						
	2019	12問		53問			49問			9問			60問			77問						
	2020	12問		51問			49問			9問			59問			78問						
	2021	14問		50問			48問			9問			58問			78問						
	2022	10問		24問			24問			11問			15問			18問						
	2023	17問																				
回収率	2017	39.7%	2,436	6,133	71.2%	4,356	6,115	58.3%	5,810	9,971				14.9%	744	5,002	12.6%	1,370	10,859	47.4%	210,611	444,699
	2018	70.2%	3,942	5,612	67.2%	3,765	5,605	48.1%	5,902	12,267	90.3%	4,737	5,248	13.0%	637	4,904	14.2%	1,677	11,827	44.3%	191,532	432,066
	2019	76.1%	4,209	5,528	66.5%	3,675	5,525	49.4%	5,914	11,975	32.0%	1,832	5,722	18.4%	968	5,247	30.7%	10,149	33,052	44.9%	187,372	417,456
	2020	82.1%	4,751	5,788	39.0%	2,249	5,772	18.3%	1,943	10,593	85.7%	4,881	5,697	15.0%	857	5,711	23.0%	7,617	33,175	21.9%	95,760	437,245
	2021	85.0%	4,936	5,808	26.8%	1,547	5,777	14.7%	1,497	10,173	85.2%	4,615	5,415	16.7%	948	5,681				22.5%	93,678	416,022
	2022	76.0%	4,655	6,128	37.3%	2,245	6,012	27.8%	1,540	5,542	57.5%	2,936	5,109	8.7%	460	5,315	26.6%	8,587	32,328	16.0%	64,128	399,649
	2023	82.4%	4,766	5,782																		
備考				2020/2021年度は郵送						2019年度は郵送			卒業41年目以降は質問紙・Web併用									

各種調査結果から見えてきたこと

1) 「Kwanseiコンピテンシー」の獲得状況：全体状況

Kwanseiコンピテンシー獲得の推移（入学時→卒業時）

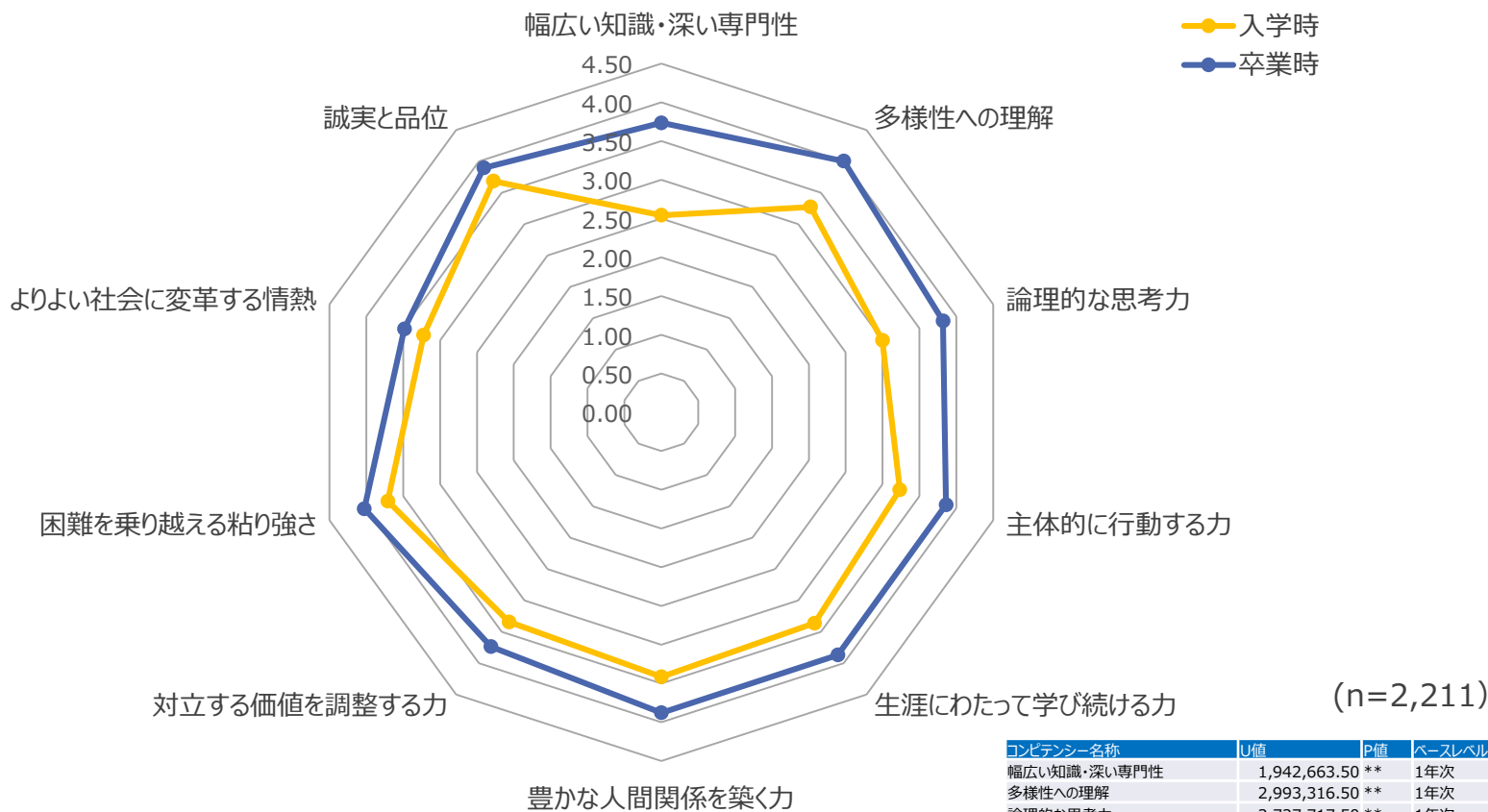
（'22年度卒業生の入学～卒業時までの同一人物の比較データより）



入学時から卒業時までの同一人物のコンピテンシーの獲得度の自己認識には有意な差があり、成長が見られる。

Q：現時点で、次の知識・能力・資質はどの程度身につけていますか。

A：「大変身につけている（5点）」 「やや身につけている（4点）」 「どちらともいえない（3点）」 「やや身につけていない（2点）」 「全く身につけていない（1点）」

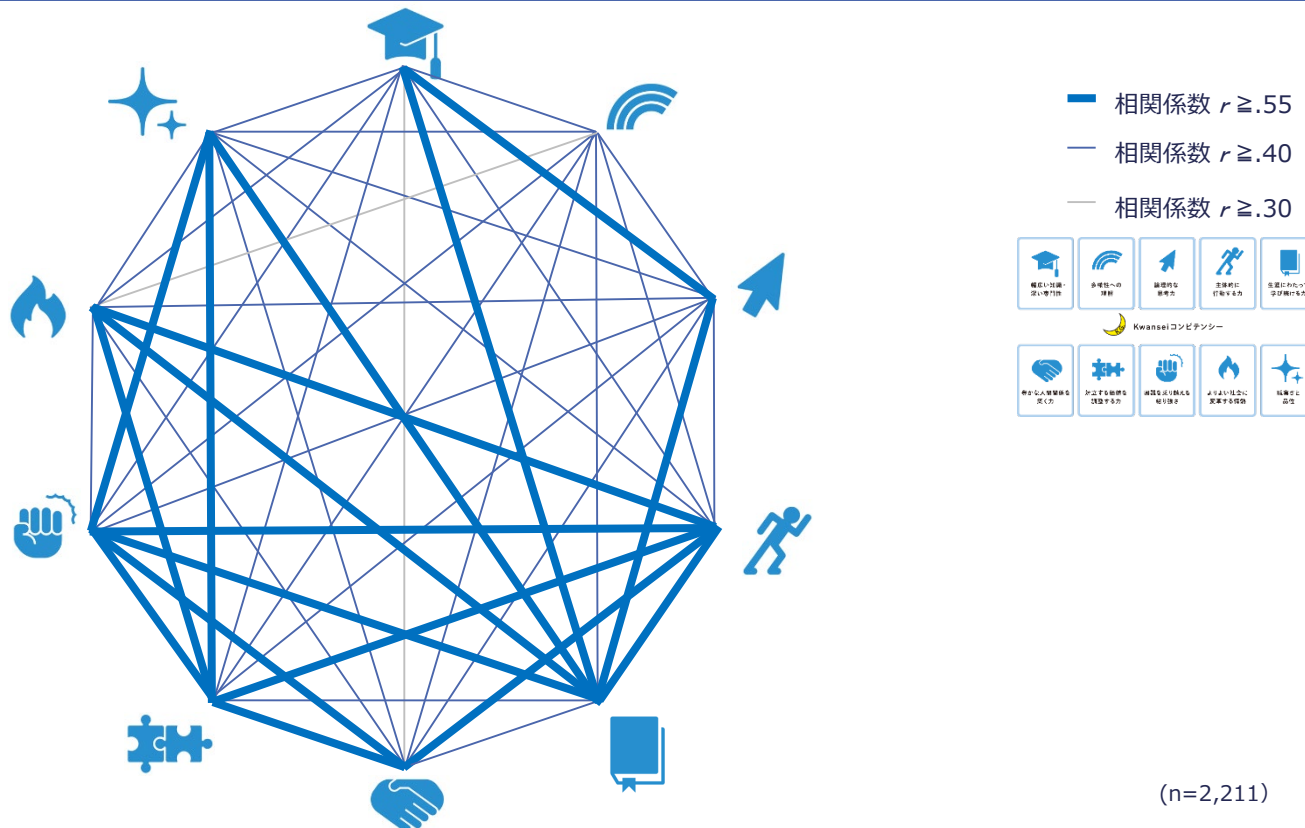


コンピテンシー名称	U値	P値	ベースレベル
幅広い知識・深い専門性	1,942,663.50	**	1年次
多様性への理解	2,993,316.50	**	1年次
論理的な思考力	2,727,717.50	**	1年次
主体的に行動する力	3,130,998.50	**	1年次
生涯にわたって学び続ける力	3,363,281	**	1年次
豊かな人間関係を築く力	3,412,142	**	1年次
対立する価値を調整する力	3,515,960	**	1年次
困難を乗り越える粘り強さ	3,776,787	**	1年次
よりよい社会に変革する情熱	3,566,311.50	**	1年次
誠実さと品位	3,947,679	*	1年次

Kwanseiコンピテンシーの相関関係

(’22年度卒業時調査の結果より)

すべてのコンピテンシーは相関関係にあり、相互に補完しあう関係性である可能性が高い。(’20年度卒業生・’21年度卒業生も同傾向)



相関係数 (r)	幅広い知識・深い専門性	多様性への理解	論理的な思考力	主体的に行動する力	生涯にわたって学び続ける力	豊かな人間関係を築く力	対立する価値を調整する力	困難を乗り越える粘り強さ	よりよい社会に変革する情熱	誠実さと品位
幅広い知識・深い専門性	1									
多様性への理解	.41	1								
論理的な思考力	.58	.44	1							
主体的に行動する力	.40	.43	.49	1						
生涯にわたって学び続ける力	.55	.45	.56	.55	1					
豊かな人間関係を築く力	.33	.41	.41	.55	.43	1				
対立する価値を調整する力	.41	.43	.47	.54	.49	.53	1			
困難を乗り越える粘り強さ	.40	.41	.47	.58	.51	.56	.51	1		
よりよい社会に変革する情熱	.42	.37	.42	.51	.53	.44	.53	.45	1	
誠実さと品位	.42	.43	.45	.48	.52	.49	.52	.58	.48	1

各種調査結果から見えてきたこと

1) 「Kwanseiコンピテンシー」の獲得状況：①正課の学び

「学修行動と授業に関する調査」サマリ【ご参考】

春学期		科目数	履修者数	回答者数	回答率
キリスト教科目	50名以下	8	189	28	14.8%
	51～250名	18	3,155	1,039	32.9%
	251名以上	11	3,546	1,153	32.5%
	計	37	6,890	2,220	32.2%
学部学科専門科目	50名以下	516	14,206	2,285	16.1%
	51～250名	583	67,485	10,321	15.3%
	251名以上	117	47,823	6,457	13.5%
	計	1,216	129,514	19,063	14.7%
言語科目	50名以下	1,513	36,742	8,960	24.4%
	51～250名	6	629	77	12.2%
	251名以上	3	1,499	156	10.4%
	計	1,522	38,870	9,193	23.7%
演習・実験科目	50名以下	472	9,615	2,385	24.8%
	51～250名	41	2,855	518	18.1%
	251名以上	—	—	—	—
	計	513	12,470	2,903	23.3%
その他科目	50名以下	118	2,243	598	26.7%
	51～250名	65	6,764	1,895	28.0%
	251名以上	16	15,313	4,098	26.8%
	計	199	24,320	6,591	27.1%
総計	50名以下	2,627	62,995	14,256	22.6%
	51～250名	713	80,888	13,850	17.1%
	251名以上	147	68,181	11,864	17.4%
	計	3,487	212,064	39,970	18.8%

秋学期		科目数	履修者数	回答者数	回答率
キリスト教科目	50名以下	4	137	16	11.7%
	51～250名	18	3,151	462	14.7%
	251名以上	8	2,693	375	13.9%
	計	30	5,981	853	14.3%
学部学科専門科目	50名以下	506	13,426	1,661	12.4%
	51～250名	522	58,356	5,762	9.9%
	251名以上	101	42,885	3,420	8.0%
	計	1,129	114,667	10,843	9.5%
言語科目	50名以下	1,341	31,721	4,869	15.3%
	51～250名	1	51	3	5.9%
	251名以上	1	349	20	5.7%
	計	1,343	32,121	4,892	15.2%
演習・実験科目	50名以下	685	12,256	1,828	14.9%
	51～250名	39	2,918	335	11.5%
	251名以上	—	—	—	—
	計	724	15,174	2,163	14.3%
その他科目	50名以下	124	2,317	558	24.1%
	51～250名	61	6,366	1,164	18.3%
	251名以上	7	10,729	1,789	16.7%
	計	192	19,412	3,511	18.1%
総計	50名以下	2,660	59,857	8,932	14.9%
	51～250名	641	70,842	7,726	10.9%
	251名以上	117	56,656	5,604	9.9%
	計	3,418	187,355	22,262	11.9%

コンピテンシーの獲得度には、

各授業でインパクトが異なることが予想され、

さらに、

学生自身の授業への積極性

シラバスに掲げられている授業目的や到達目標の達成感

授業満足度

が影響を及ぼしている可能性がある。

= 各授業のシラバスに示されている目的や到達目標、成績評価と、授業評価結果の関連性を明らかにすることで、将来的に学生が伸ばしたい能力を伸ばせる授業のリコメンド等が可能になるのではないかと期待。

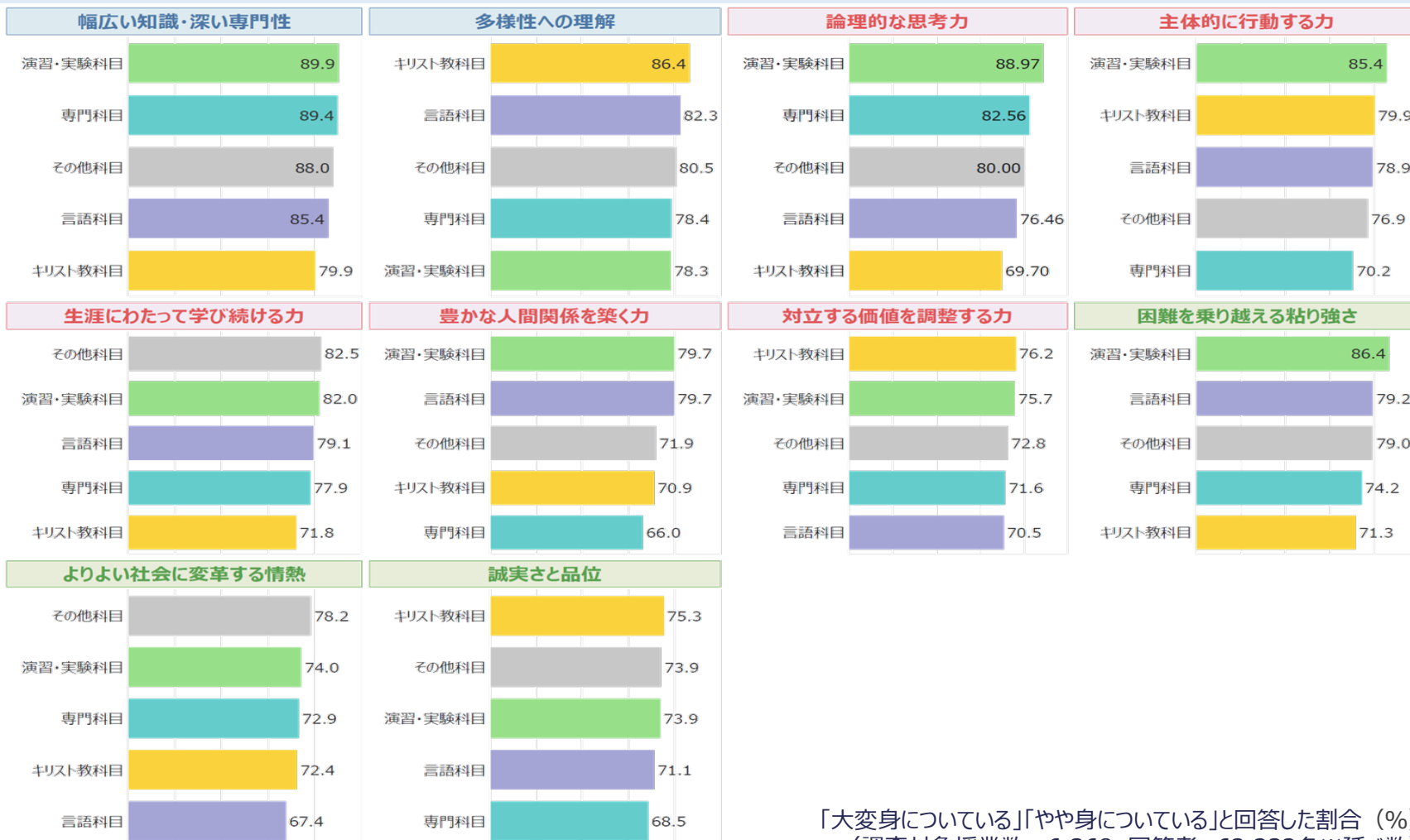
Kwanseiコンピテンシーの獲得度と正課科目の関連性

(’22年度授業評価アンケートより)

授業科目区分ごとにコンピテンシー獲得度には違いがあり、さらに授業ごとに分析を深める必要がある。

Q：この授業を受講して、次の知識・能力・資質はどの程度身につきましたか？

A：「大変身についている」「やや身についている」「どちらともいえない」「やや身についていない」「全く身についていない」

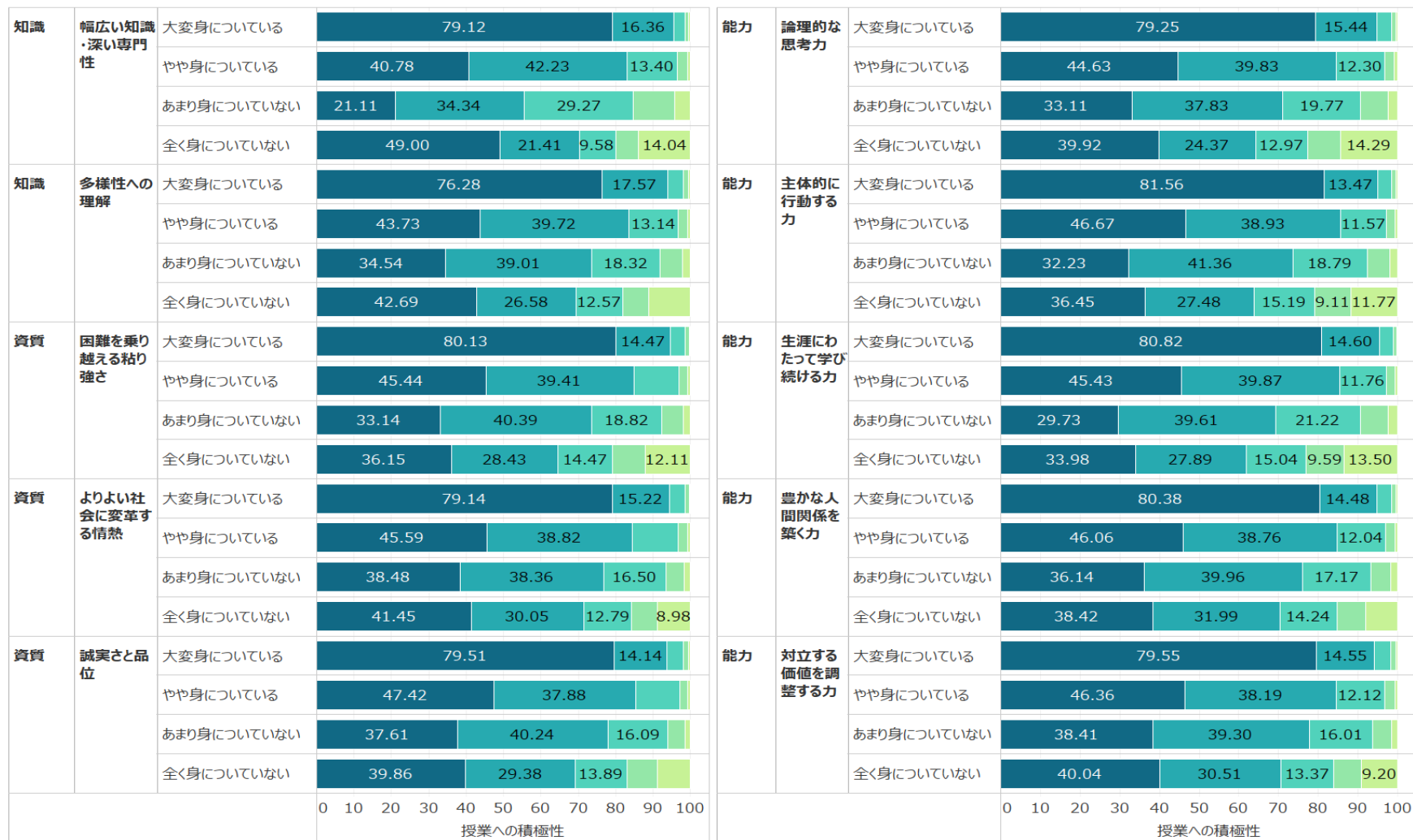


「大変身についている」「やや身についている」と回答した割合 (%)
(調査対象授業数 = 6,368、回答者 = 62,232名 ※延べ数)

授業への積極性×コンピテンシー獲得度

(’22年度授業評価アンケートより)

授業への積極性とすべてのコンピテンシーの獲得度には正の相関関係がある。(学年や学部の差はない)



■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そう思わない
 ■ どちらかというと思う ■ どちらかというと思わない



授業目標達成度×コンピテンシー獲得度

(’22年度授業評価アンケートより)

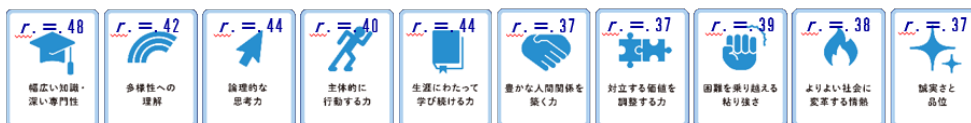
授業目標達成度とすべてのコンピテンシーの獲得度には正の相関関係がある。(学年や学部の差はない)

知識	幅広い知識・深い専門性	大変身についている	66.23					27.66
知識	幅広い知識・深い専門性	やや身についている	19.66	55.88			20.84	
		あまり身についていない	31.51	39.79		14.24		
		全く身についていない	35.77	16.46	13.56	23.67		
		知識	多様性への理解	大変身についている	64.59			
知識	多様性への理解	やや身についている	23.07	53.50			19.54	
		あまり身についていない	16.07	45.99	28.85			
		全く身についていない	26.62	26.54	19.42	9.98	17.44	
		資質	困難を乗り越える粘り強さ	大変身についている	67.63			
資質	困難を乗り越える粘り強さ	やや身についている	24.52	52.84			18.72	
		あまり身についていない	16.88	48.95	27.38			
		全く身についていない	23.60	28.75	21.39	16.82		
		資質	よりよい社会に変革する情熱	大変身についている	69.68			
資質	よりよい社会に変革する情熱	やや身についている	25.03	52.73			18.48	
		あまり身についていない	18.39	49.63	25.72			
		全く身についていない	25.53	31.03	21.20	13.58		
		資質	誠実さと品位	大変身についている	70.38			
資質	誠実さと品位	やや身についている	26.48	52.41			17.64	
		あまり身についていない	18.52	50.78	25.07			
		全く身についていない	24.06	31.45	21.66	13.28		
		能力	論理的な思考力	大変身についている	68.23			
能力	論理的な思考力	やや身についている	23.72	53.78			18.73	
		あまり身についていない	15.77	45.02	29.97			
		全く身についていない	25.99	20.26	20.26	22.64		
		能力	主体的に行動する力	大変身についている	69.25			
能力	主体的に行動する力	やや身についている	25.66	52.78			17.81	
		あまり身についていない	15.96	49.97	27.18			
		全く身についていない	23.36	26.54	23.57	16.31		
		能力	生涯にわたって学び続ける力	大変身についている	69.26			
能力	生涯にわたって学び続ける力	やや身についている	24.00	54.25			18.17	
		あまり身についていない	13.53	46.43	31.56			
		全く身についていない	22.56	23.09	22.85	11.59	19.92	
		能力	豊かな人間関係を築く力	大変身についている	68.21			
能力	豊かな人間関係を築く力	やや身についている	25.46	52.00			18.71	
		あまり身についていない	18.39	50.79	24.95			
		全く身についていない	23.86	33.78	22.13	11.65		
		能力	対立する価値を調整する力	大変身についている	69.96			
能力	対立する価値を調整する力	やや身についている	25.81	51.81			18.54	
		あまり身についていない	18.83	50.41	24.70			
		全く身についていない	24.49	31.42	21.53	13.80		

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
シラバスに示された目的や到達目標を達成できたかどうか

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
シラバスに示された目的や到達目標を達成できたかどうか

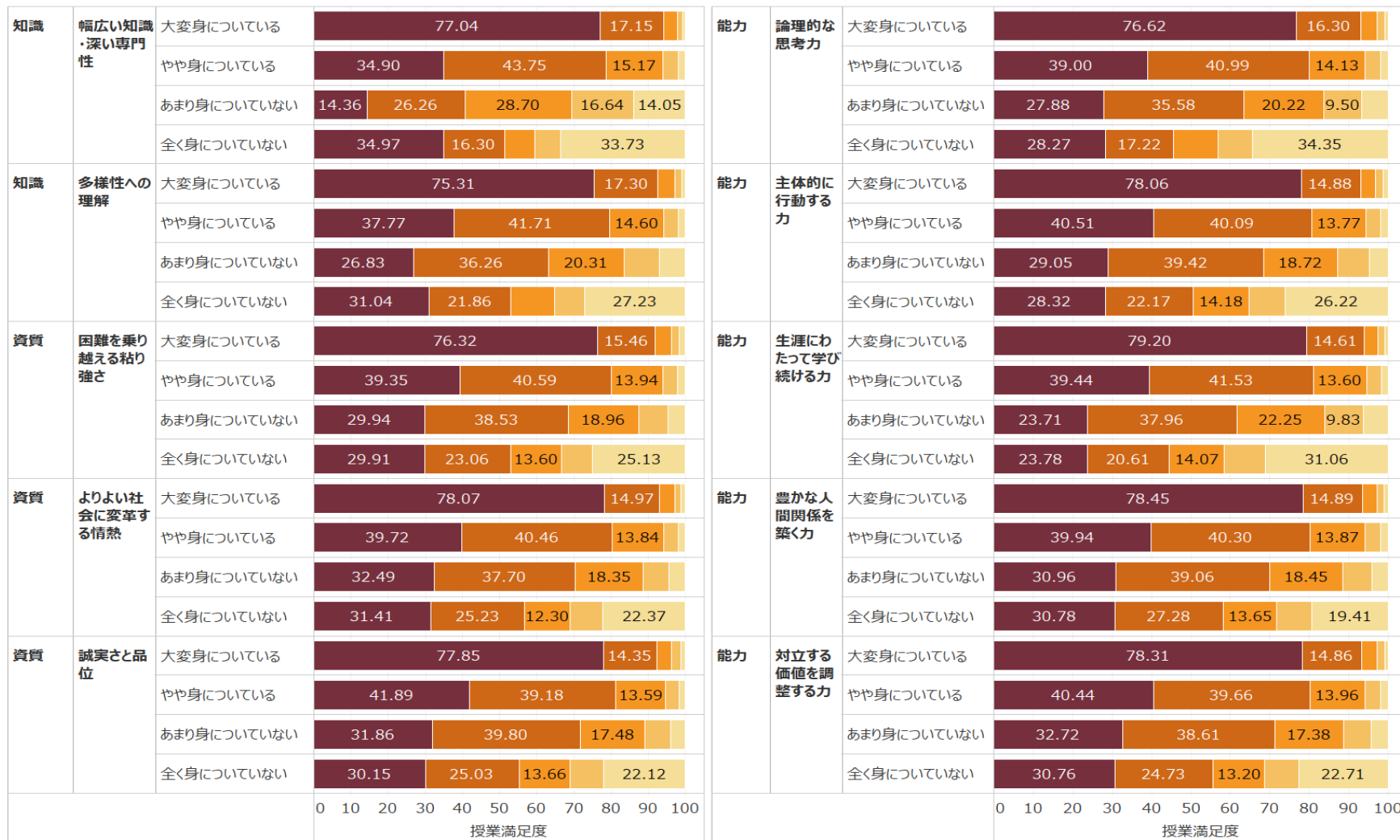
- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない



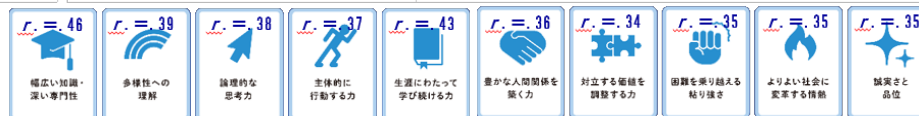
授業満足度×コンピテンシー獲得度

(’22年度授業評価アンケートより)

授業満足度とすべてのコンピテンシーの獲得度には正の相関関係がある。(学年や学部の差はない)



■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そう思わない
 ■ どちらかというと思う ■ どちらかというと思わない



各種調査結果から見えてきたこと

1) 「Kwanseiコンピテンシー」の獲得状況：

② 準正課・正課外（+a）の学び



教育OSの刷新「ダブルチャレンジ制度」



協定に基づく海外派遣学生数日本一



国連・国際機関等へのゲートウェイ創設

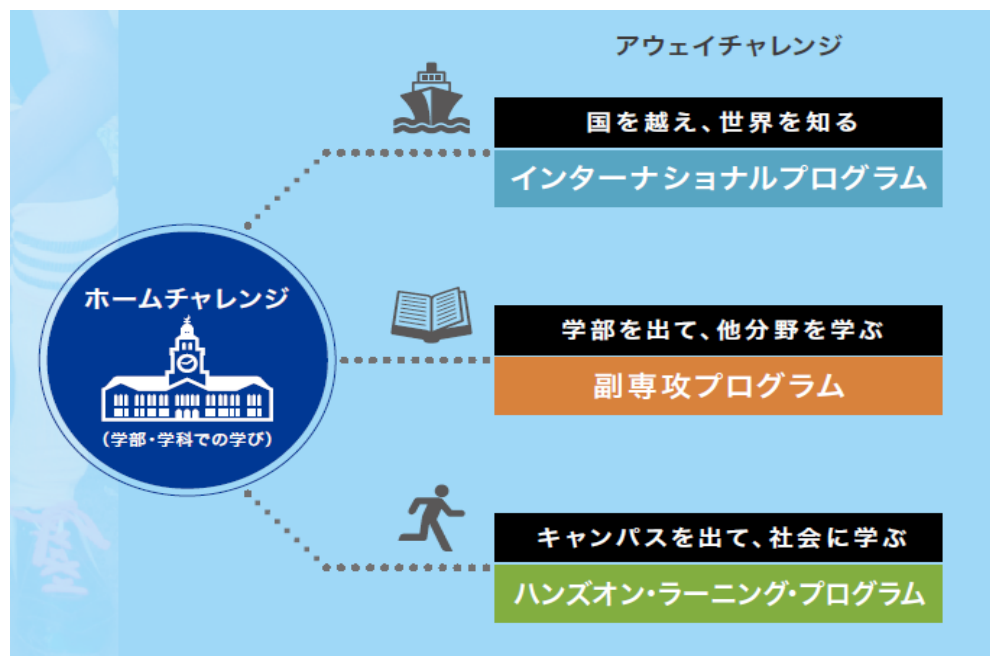


国際通用性のある質保証システム構築



ガバナンス改革による総合的マネジメント実現

ダブルチャレンジ制度概要



「ダブルチャレンジ制度」は、学部や専攻での学び「ホームチャレンジ」に加えて、もう一つの学び「アウェイチャレンジ」に挑戦する制度。

SGU施策の一環として2015年度よりスタート。アウェイチャレンジに制限は設けておらず、すべてを修了する学生も増えてきている。なお、2022年度卒業生のうち、42.2%がダブルチャレンジを達成している。

【国際ナショナルプログラム】

「国を越え、世界を知る」ためのプログラム。協定校への留学プログラムや、発途上国での国際協力事業への参加、グローバル企業へのインターンシップ等を実施。外国人留学生とのディスカッションやフィールドワークで学ぶ、「フュージョン（融合）」科目を設置。

【副専攻プログラム】

最短4年で2つの学位を取得する（2学部卒業）プログラム。3年生で本科を卒業し、4年生で副専攻学部へ編入し、卒業を目指す。

【ハンズオン・ラーニングプログラム】

「キャリア」「地域」「企業・行政」「普遍的な社会課題」という4つの領域で、実際に現場に出て、問うべき問いを探究する実践型のプログラム。

2022年度卒業生におけるプログラム修了者の状況	男性	女性	合計
国際ナショナル・ハンズオン・副専攻	6 (4)	22 (15)	28 (19)
国際ナショナル・ハンズオン	87 (44)	221 (110)	308 (154)
国際ナショナル・副専攻	1 (0)	7 (4)	8 (4)
副専攻・ハンズオン	15 (11)	33 (20)	48 (31)
国際ナショナルプログラムのみ	162 (65)	262 (122)	424 (187)
ハンズオンのみ	539 (235)	816 (407)	1355 (642)
副専攻のみ	21 (10)	20 (11)	41 (21)
いずれも不参加	1706 (629)	1321 (524)	3027 (1153)
合計	2,537 (999)	2,702 (1,213)	5,239 (2,211)

※ () 内は、入学時から卒業時までの調査に回答している今回の分析対象とした学生数

知識



- ★【知識】の獲得には、ハンズオンラーニングの修了が有効。
- ★「多様性への理解」の獲得には、国際プログラム修了が有効。

能力



- ★【能力】の獲得には、国際プログラムの修了が有効。※「対立する価値を調整する力」以外
- ★「主体的に行動する力」「生涯にわたって学び続ける力」の獲得には、ハンズオンラーニングプログラムの修了が有効。
- ★「豊かな人間関係を築く力」「対立する価値を調整する力」の獲得には、課外活動の完遂が有効。

資質



- ★「よりよい社会に変革する情熱」には、ダブルチャレンジの修了が有効。
- ★「困難を乗り越える粘り強さ」「よりよい社会に変革する情熱」の獲得には、課外活動の完遂が有効。
- ★「誠実さと品位」の獲得には、国際プログラムの修了が有効。

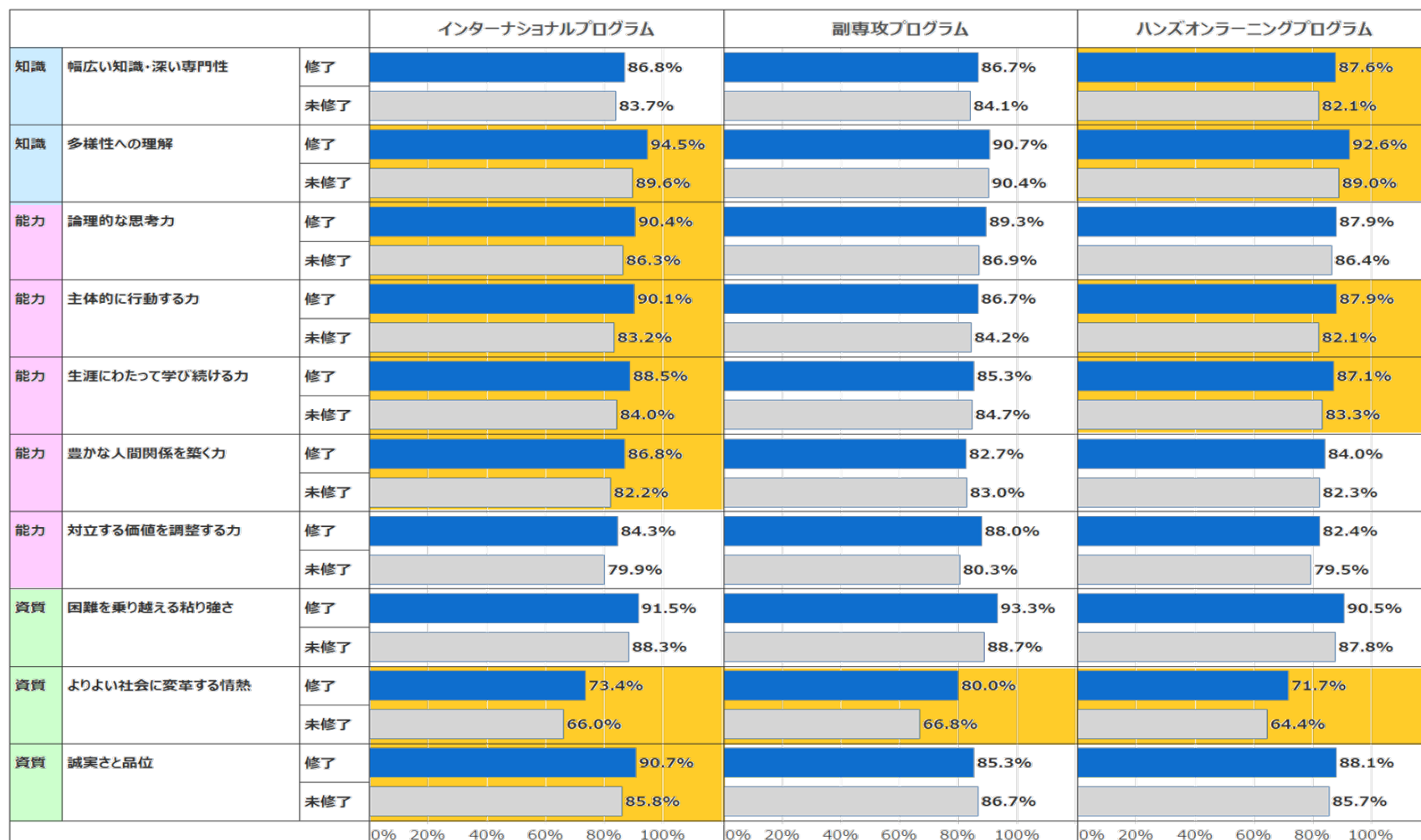
Kwanseiコンピテンシー獲得度とダブルチャレンジ

(’22年度卒業時調査より)

プログラムの修了・未修了者のコンピテンシーの獲得度には差があり、インパクトも異なると予測できる。

Q：現時点で、次のような知識・能力・資質はどの程度身につけていますか。

A：「大変身についている」「やや身についている」「どちらともいえない」「やや身についていない」「全く身についていない」



「大変身についている」「やや身についている」と回答した割合

修了者と未修了者で有意な差のある項目

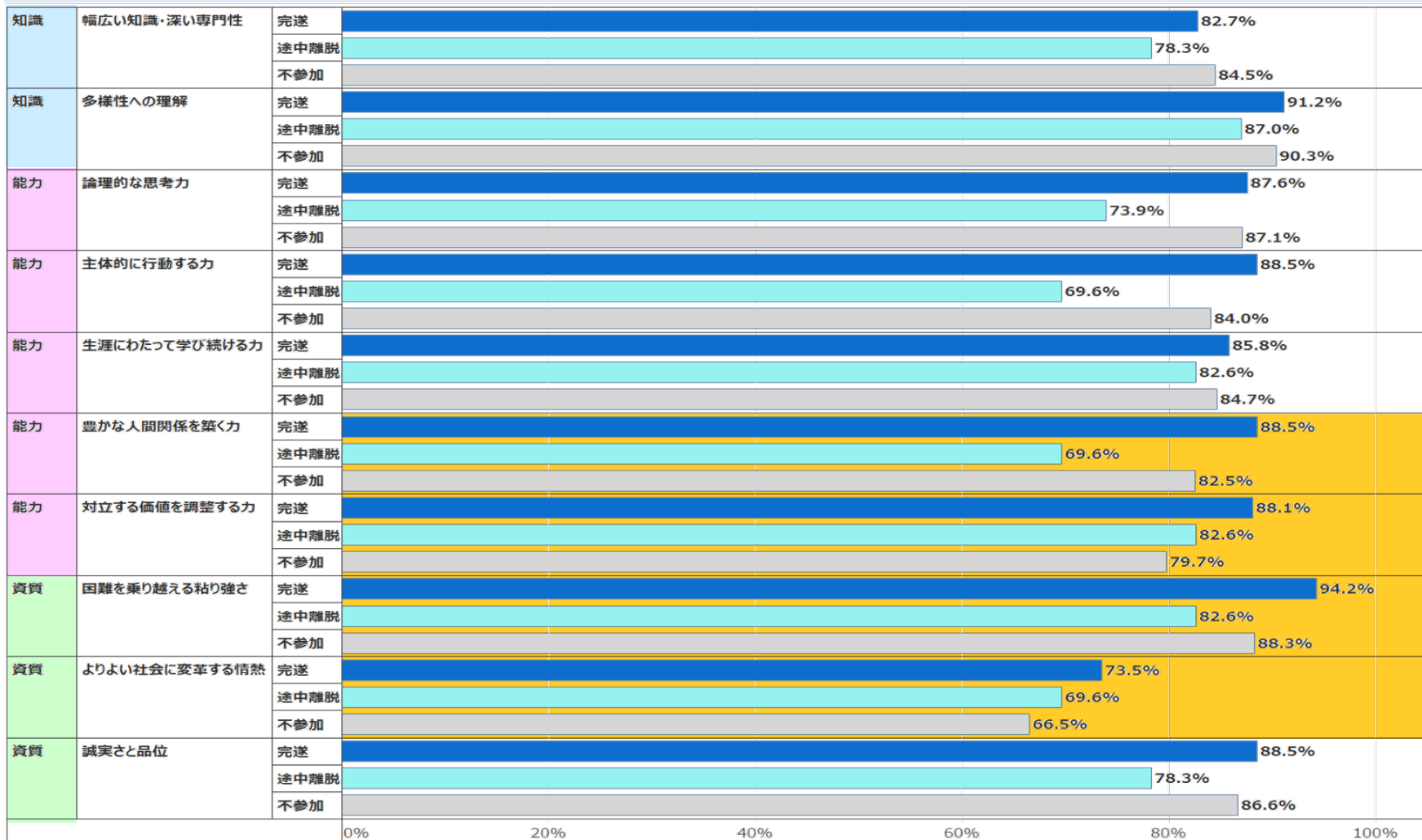
Kwanseiコンピテンシー獲得度と課外活動

(’22年度卒業時調査より)

課外活動の参加状況により、コンピテンシーの獲得度には差がある。また、継続することによるインパクトもあると考えられる。

Q：現時点で、次のような知識・能力・資質はどの程度身につけていますか。

A：「大変身についている」「やや身についている」「どちらともいえない」「やや身についていない」「全く身についていない」



「大変身についている」「やや身についている」と回答した割合

完遂者と不参加者で有意な差のある項目

Kwanseiコンピテンシーの獲得に影響のある経験

(22年度卒業時調査)

正課がコンピテンシーの獲得度に強い影響をもつとともに、課外活動や就職活動も学生の成長に寄与している。

Q：あなたの知識・能力・資質の獲得において、もっとも役に立った大学生活での学びを1つずつ教えてください。

A：キリスト教科目、学部学科の専門科目、研究演習（ゼミ活動）・卒業研究（卒業論文）、留学等の国際プログラム・ハンズオンラーニングプログラム・インテンシブプログラム（外国語）、副専攻プログラム、課外活動（部活動・サークル等）、就職活動（インターンシップ含む）

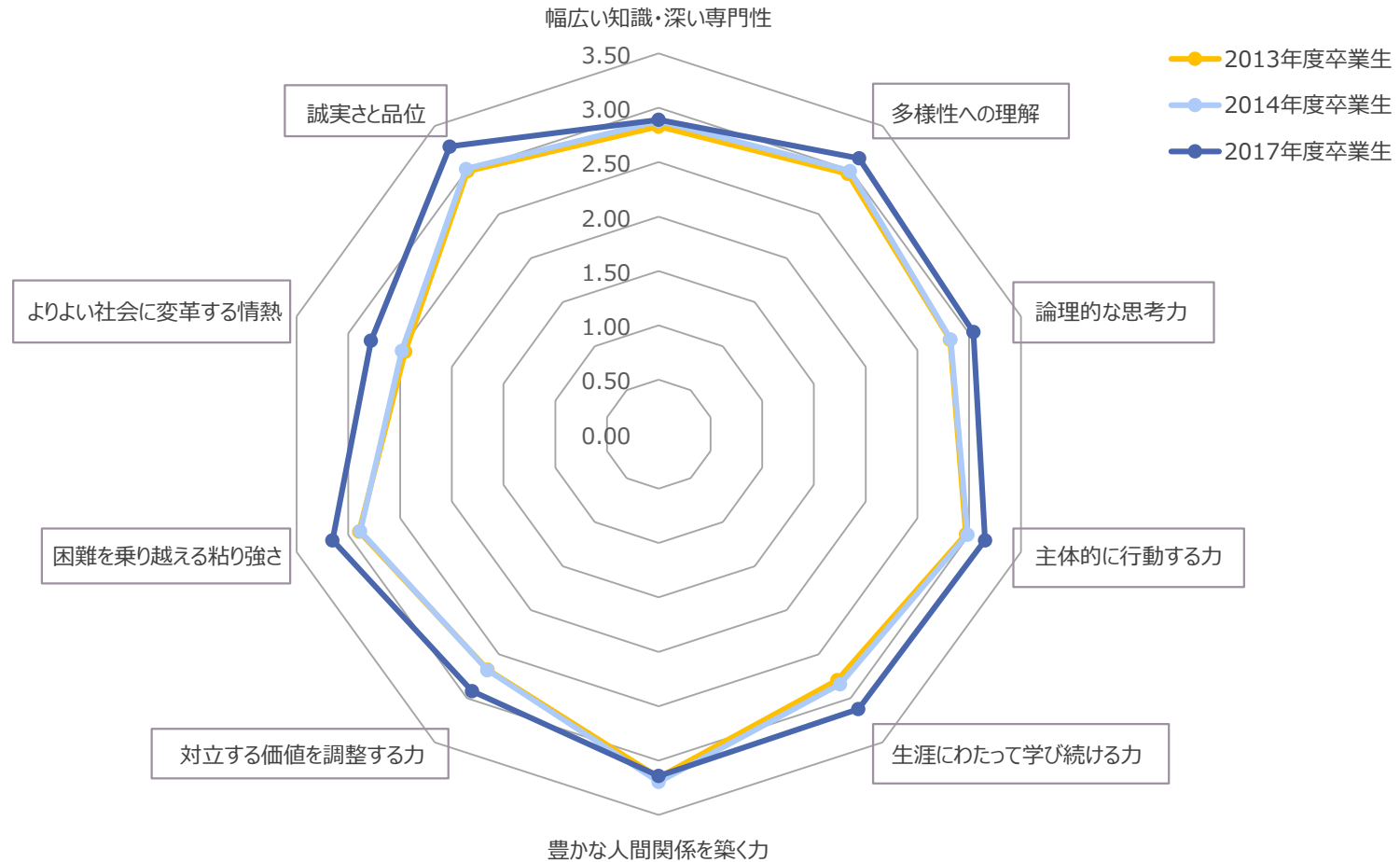
項目	Kwanseiコンピテンシー（知識）		Kwanseiコンピテンシー（資質）		
	幅広い知識・深い専門性	多様性への理解	困難を乗り越える粘り強さ	よりよい社会に変革する情熱	誠実さと品位
学部・学科の専門科目	850	694	276	530	285
研究演習・卒業研究（ゼミ・卒業論文含む）	810	357	606	378	348
キリスト教科目	54	169	29	50	162
インテンシブプログラム（外国語）	25	56	7	8	12
国際プログラム	60	133	63	38	20
ハンズオンラーニングプログラム	26	34	18	44	21
副専攻プログラム	22	23	27	25	14
課外活動（部活・サークル）	183	326	460	213	374
就職活動（インターンシップ含む）	79	90	406	254	269

項目	Kwanseiコンピテンシー（能力）				
	論理的な思考力	主体的に行動する力	生涯にわたって学び続ける力	豊かな人間関係を築く力	対立する価値を調整する力
学部・学科の専門科目	674	242	534	288	338
研究演習・卒業研究（ゼミ・卒業論文含む）	982	625	701	420	544
キリスト教科目	28	24	37	30	55
インテンシブプログラム（外国語）	17	21	21	28	15
国際プログラム	12	109	46	72	41
ハンズオンラーニングプログラム	33	43	36	28	31
副専攻プログラム	13	18	20	15	15
課外活動（部活・サークル）	115	563	195	818	575
就職活動（インターンシップ含む）	152	256	191	75	115

SGU事業開始前後の卒業生Kwanseiコンピテンシー

(’19、’20、’22年度卒業生調査より)

SGU事業による教育OSの刷新が、本学学生のコンピテンシー獲得度の全体的な上昇に寄与しつつある。



SGU開始前の卒業生と卒業後の卒業生とでは卒業後のKwanseiコンピテンシーに有意な差がある。

各種調査結果から見えてきたこと

2) 「Kwanseiコンピテンシー」と「真に豊かな人生」の関係

「真に」= “Mastery for Service” の実践、「豊かな」= Well-being の度合い

(測定項目)

● スクールモットー「Mastery for Service」への意識

「関西学院大学のスクールモットー“Mastery for Service”をどの程度意識していますか？
意識している／ある程度意識している／あまり意識していない／意識していない

● 職階および年収

<職階>

経営者・役員／管理職（部長級）／管理職（課長級）／監督職／それ以外（一般職）／自営業（※今回の分析からは「自営業」は除いている）

<年収>

3,000万円以上／2,000万円以上～3,000万円未満／1,400万円以上～2,000万円未満／1,200万円以上～1,400万円未満／1,000万円以上～1,200万円未満／800万円以上～1,000万円未満／600万円以上～800万円未満／400万円以上～600万円未満／200万円以上～400万円未満／200万円未満

● キャリアパスへの満足度

「これまでの職務経歴に満足していますか？」

満足／どちらかといえば満足／どちらともいえない／どちらかといえば不満／不満／働いたことはない（※今回の分析からは「働いたことはない」は除いている）

● 現在の自分を取り巻く環境への評価（仕事・経済状況・人間関係・健康状況）

「現在の自分を取り巻く環境に対して、あなたはどのように思いますか？」
「そう思う／どちらかといえばそう思う／どちらかといえばそう思わない／そう思わない」

A：人生の目標が明確である

B：現在の職場・仕事に意欲をもって取り組んでいる

C：自らの生活形態を維持するに足りる収入がある

D：悩みを相談できる人がいる

E：楽しい時を過ごせる人がいる

F：健康面では特に問題ない

Kwanseiコンピテンシーは、「真に豊かな人生」を送っている人とそうでない人との比較において、有意な差がある。



- Kwanseiコンピテンシーの獲得度は、“職階”・“年収”との関連性が高く、
スクールモットー“Mastery for Service”とも正の相関関係がある。
- スクールモットー“Mastery for Service”への意識は、
年齢を経るごとに高まっていく傾向があり、
職階・年収とも関連性が見いだせる。



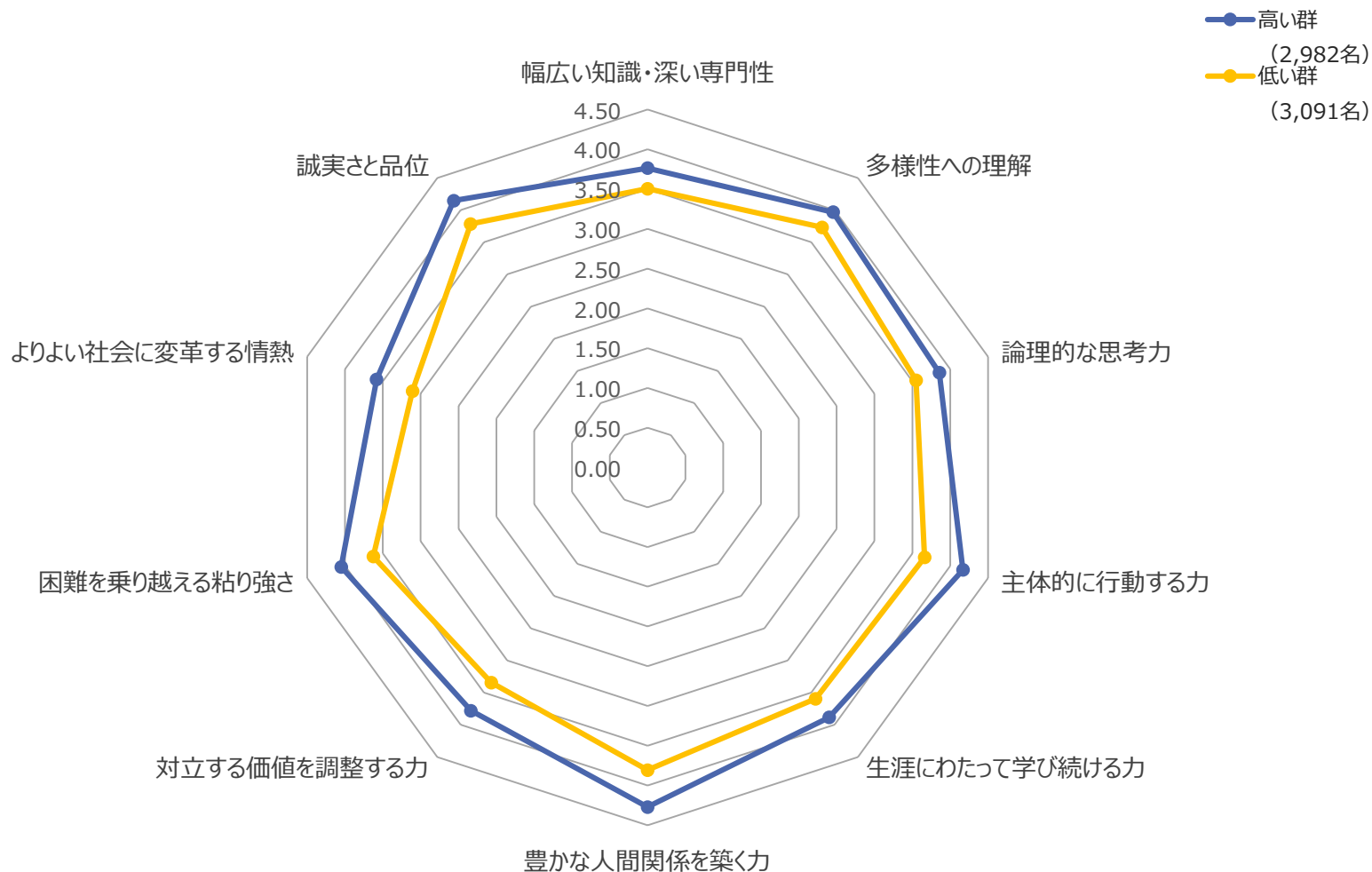
「真に豊かな人生」の実現には、Kwanseiコンピテンシーを獲得して卒業していくことが重要な要因となると予測できる。

「真に豊かな人生」実現している人のKwanseiコンピテンシー

(’19、’20、’22年度卒業生調査より)



「真に豊かな人生」実現度の高い人と低い人のKwanseiコンピテンシー獲得度には、有意な差がある。



各種調査結果から見えてきたこと

2) 「Kwanseiコンピテンシー」と「真に豊かな人生」の関係：

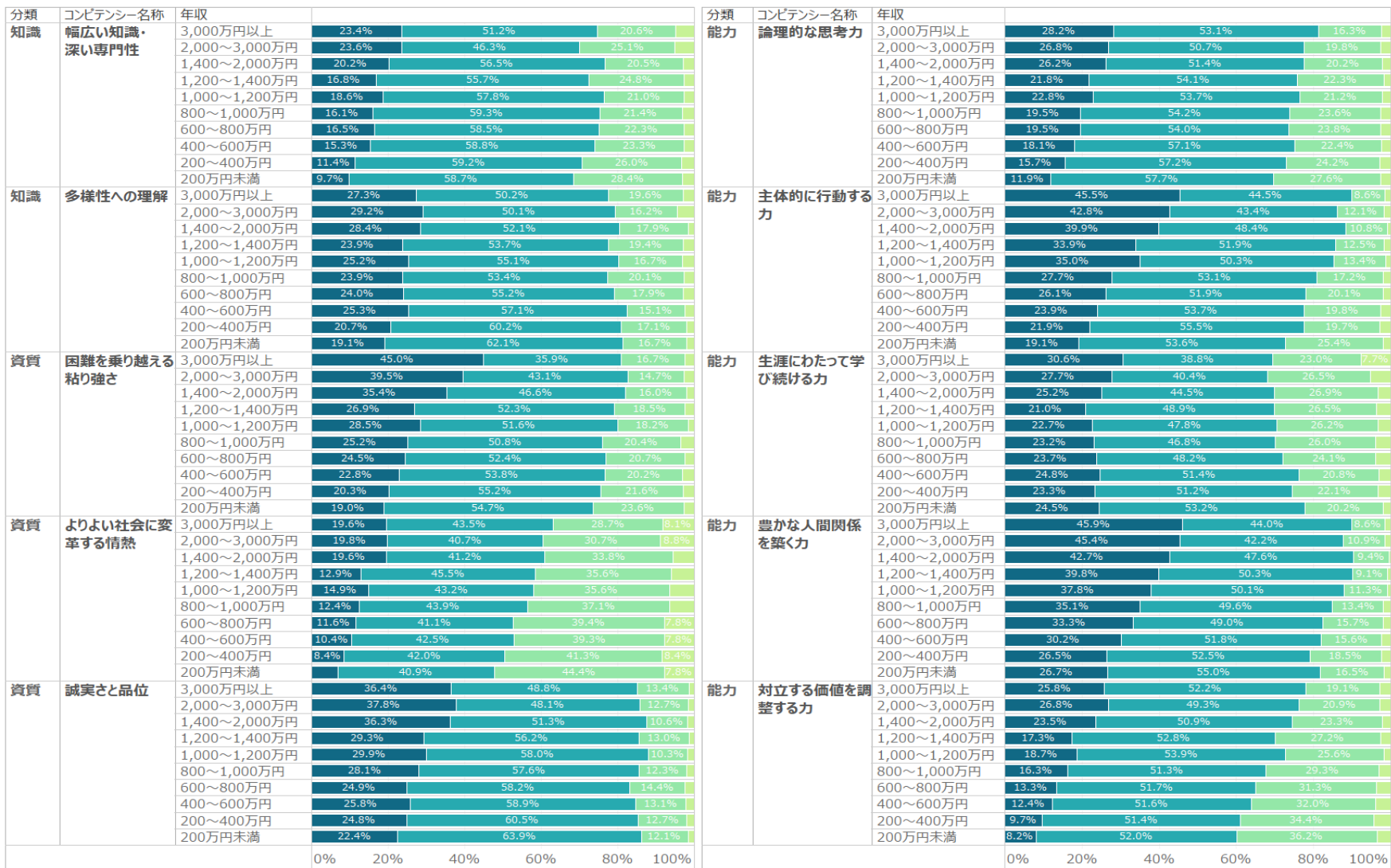
① Well-being（職階、年収等）の観点から

職階が高いほど、特にコンピテンシー【能力】・【資質】の獲得度が高い傾向がある。

分類	コンピテンシー名称	職階	獲得度 (%)			
知識	幅広い知識・深い専門性	経営者・役員	16.3%	56.0%	24.4%	
		管理職 (部長級)	18.7%	57.6%	21.0%	
		管理職 (課長級)	14.3%	59.7%	23.1%	
		監督職	15.4%	59.1%	22.6%	
		それ以外	14.2%	58.4%	24.6%	
知識	多様性への理解	経営者・役員	23.5%	54.9%	18.9%	
		管理職 (部長級)	24.0%	54.1%	18.9%	
		管理職 (課長級)	23.7%	53.0%	20.1%	
		監督職	23.9%	56.4%	17.1%	
		それ以外	23.3%	58.8%	15.8%	
資質	困難を乗り越える粘り強さ	経営者・役員	30.3%	47.9%	19.3%	
		管理職 (部長級)	28.5%	50.2%	19.8%	
		管理職 (課長級)	25.3%	50.8%	20.9%	
		監督職	22.7%	53.7%	20.6%	
		それ以外	22.3%	54.5%	20.4%	
資質	よりよい社会に変革する情熱	経営者・役員	15.3%	42.5%	35.2%	
		管理職 (部長級)	14.7%	43.8%	35.3%	
		管理職 (課長級)		42.5%	38.6%	
		監督職		41.3%	40.0%	
		それ以外		42.2%	40.8%	
資質	誠実さと品位	経営者・役員	31.1%	54.4%		
		管理職 (部長級)	32.2%	55.8%		
		管理職 (課長級)	28.2%	57.6%		
		監督職	22.3%	59.5%	15.4%	
		それ以外	25.5%	60.2%		
能力	論理的な思考力	経営者・役員	21.7%	54.5%	21.0%	
		管理職 (部長級)	23.1%	52.9%	21.8%	
		管理職 (課長級)	18.7%	54.2%	24.9%	
		監督職	19.3%	53.4%	24.7%	
		それ以外	16.7%	56.9%	23.9%	
能力	主体的に行動する力	経営者・役員	35.2%	50.1%	13.3%	
		管理職 (部長級)	33.6%	52.9%		
		管理職 (課長級)	28.2%	52.5%	17.6%	
		監督職	23.9%	53.4%	20.4%	
		それ以外	23.3%	53.4%	20.9%	
能力	生涯にわたって学び続ける力	経営者・役員	25.2%	45.4%	25.9%	
		管理職 (部長級)	21.2%	48.5%	27.1%	
		管理職 (課長級)	20.6%	47.8%	27.4%	
		監督職	20.5%	49.6%	25.6%	
		それ以外	25.5%	50.8%	20.7%	
能力	豊かな人間関係を築く力	経営者・役員	40.1%	47.4%		
		管理職 (部長級)	36.6%	52.5%		
		管理職 (課長級)	36.0%	49.2%	13.6%	
		監督職	31.8%	49.3%	16.9%	
		それ以外	29.3%	52.4%	16.0%	
能力	対立する価値を調整する力	経営者・役員	18.3%	51.8%	26.7%	
		管理職 (部長級)	18.3%	51.7%	27.8%	
		管理職 (課長級)	16.0%	52.0%	28.8%	
		監督職	13.4%	51.9%	31.4%	
		それ以外		51.5%	33.0%	

■ 大変身についている ■ やや身についている ■ あまり身についていない ■ 全く身についていない

年収が高いほど、コンピテンシーの獲得度が高い傾向がある。

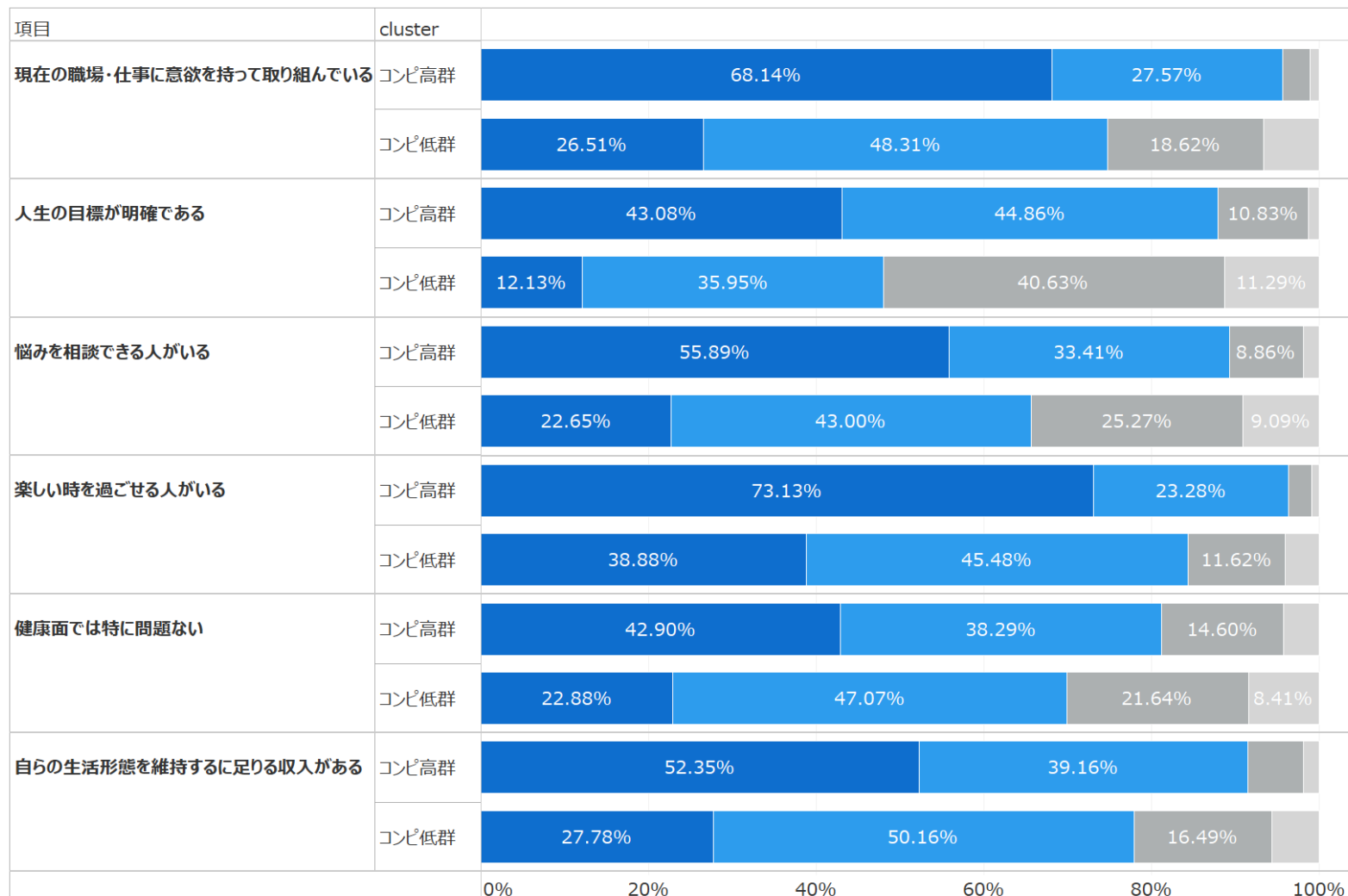


■ 大変身についている ■ やや身についている ■ あまり身についていない ■ 全く身についていない

KwanseiコンピテンシーとWell-Being

(’19、’20、’22年度卒業生調査より)

コンピテンシーの獲得度が高い人は、低い人と比べて有意にWell-Beingが高い傾向にある。

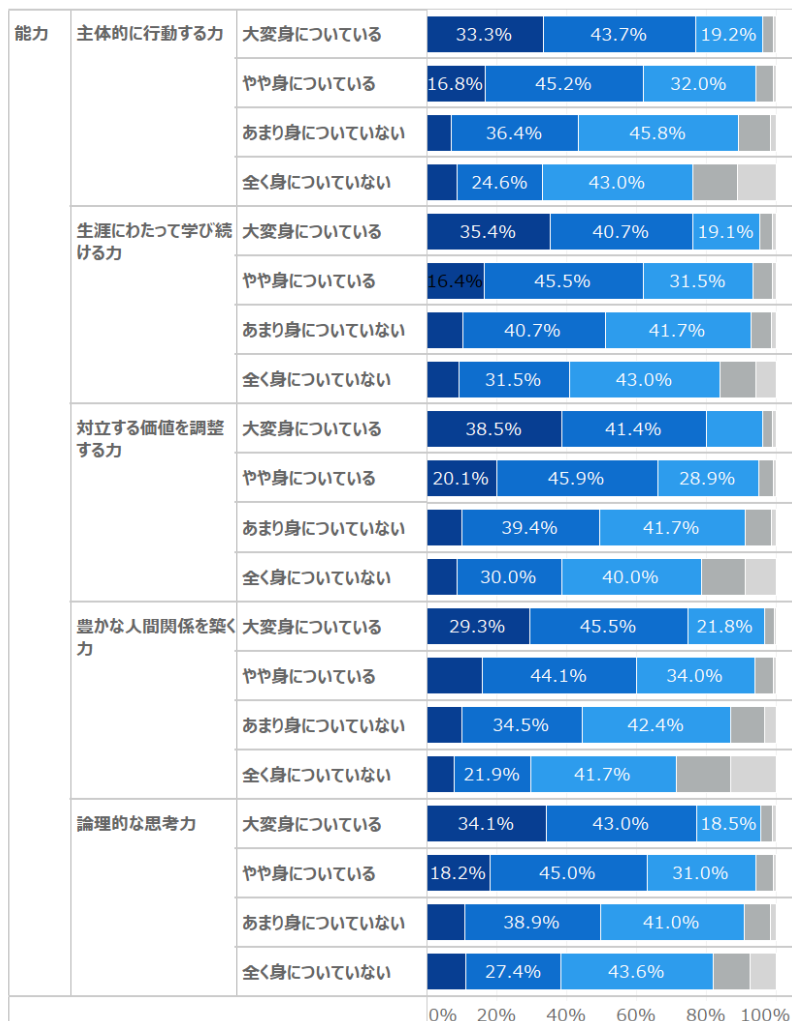
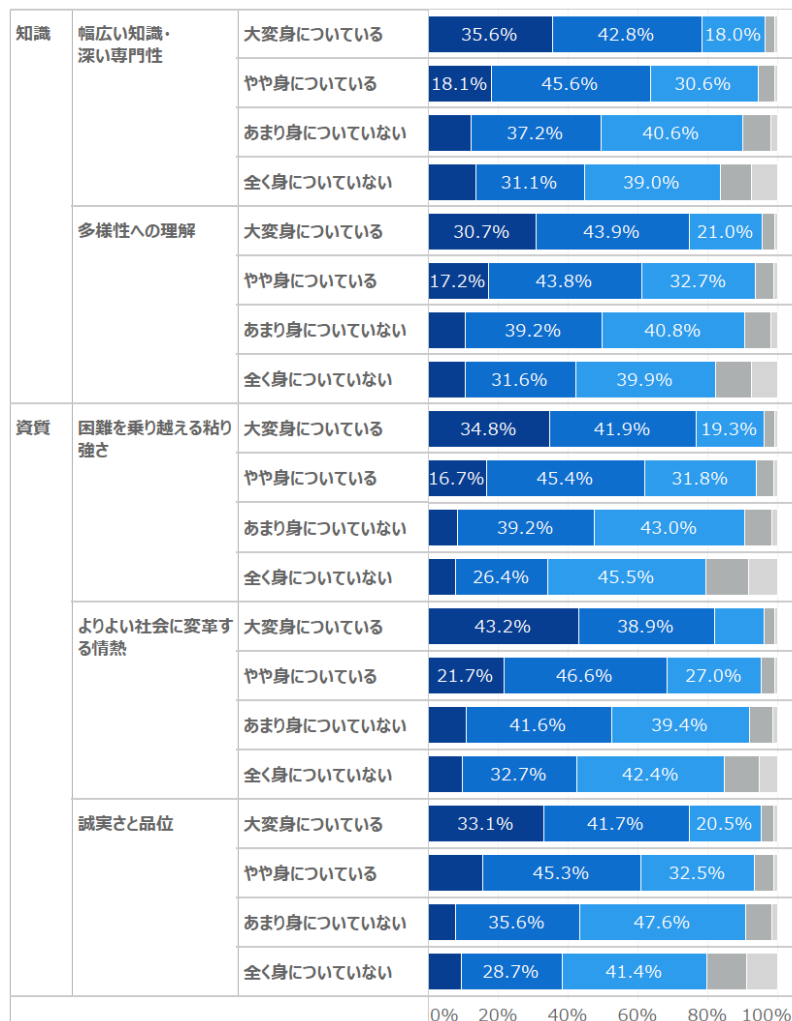


■ そう思う
■ どちらかといえばそう思う
■ どちらかといえばそう思う
■ そう思わない

Kwanseiコンピテンシーとキャリアパス満足度

(’19、’20、’22年度卒業生調査より)

キャリアパス満足度が高いほど、コンピテンシーの獲得度も高い傾向にある。



- とても満足
- 満足
- どちらとも言えない
- 不満
- とても不満

各種調査結果から見えてきたこと

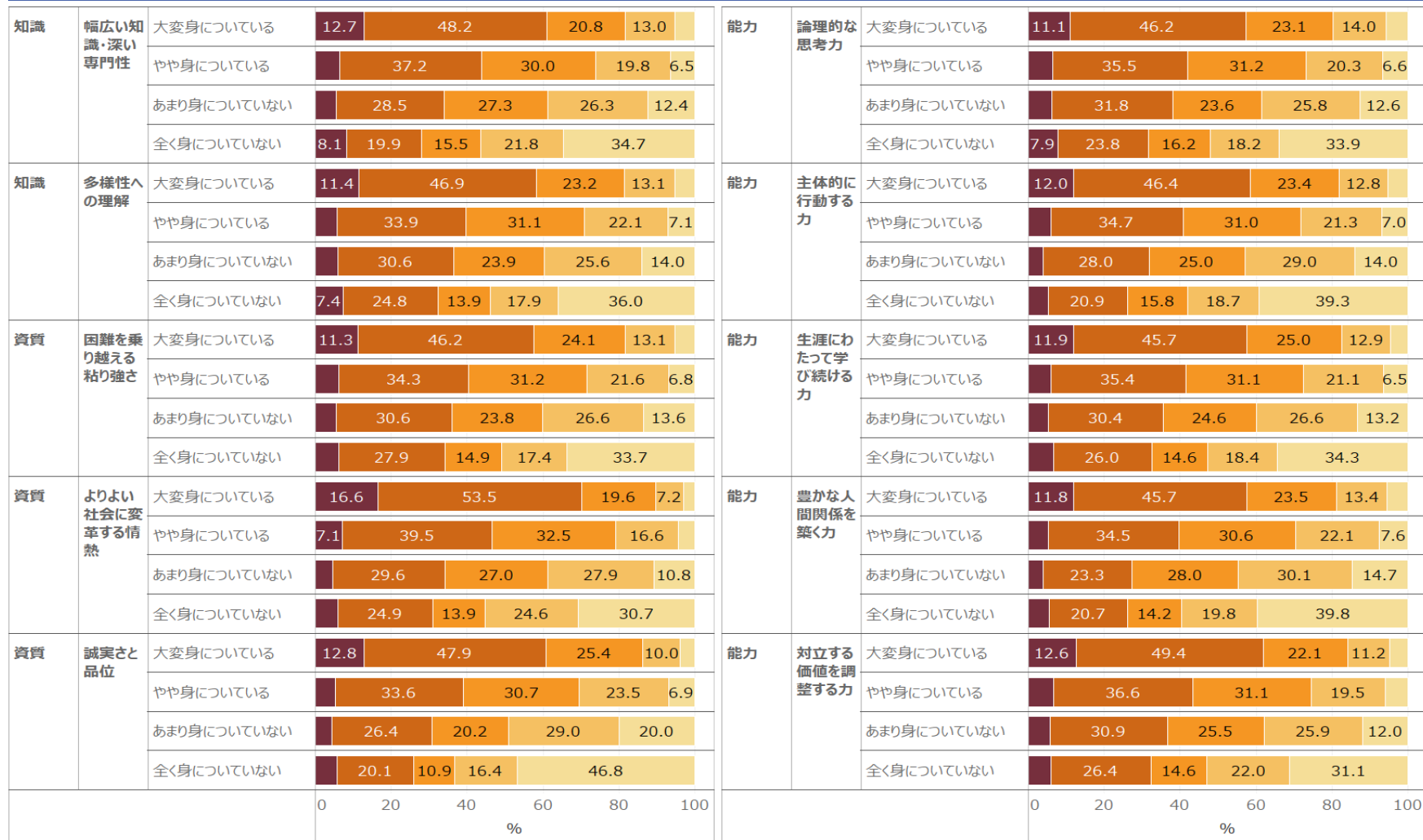
2) 「Kwanseiコンピテンシー」と「真に豊かな人生」の関係：

② スクールモットー“Mastery for Service”の観点から

KwanseiコンピテンシーとMastery for Service

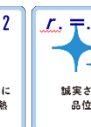
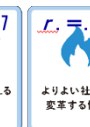
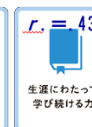
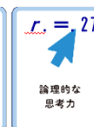
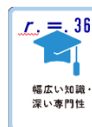
(’19、’20、’22年度卒業生調査より)

コンピテンシー獲得度と“Mastery for Service”への意識は正の相関関係にある。



Mastery for Service™への意識度

- 常に意識している
- どちらでもない
- ときどき意識している
- あまり意識しない
- 全く意識しない



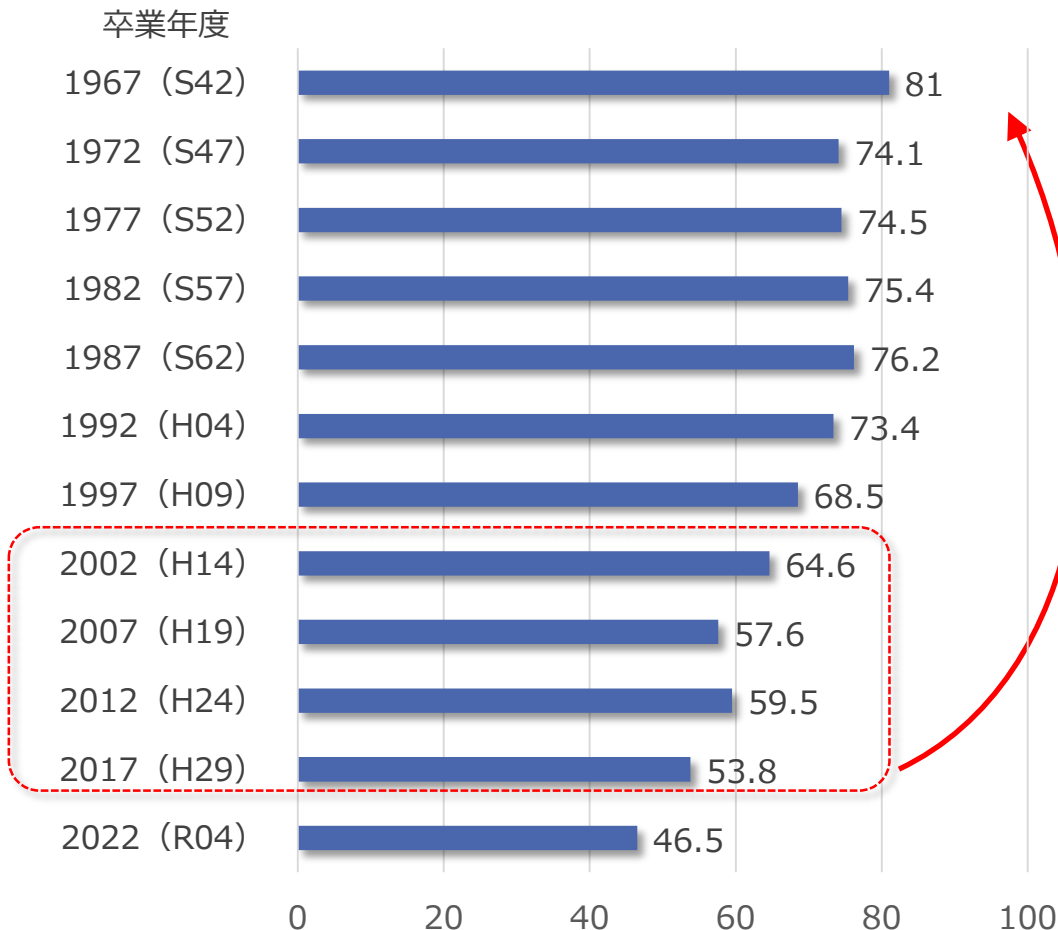
Mastery for Serviceへの意識の浸透

(’22年度卒業生調査より)

“Mastery for Service”への意識は、個人内でも年齢が上がるにつれて有意に高まる

Q：関西学院大学のスクールモットー“Mastery for Service”をどの程度意識していますか。

A：「意識している」「ある程度意識している」「あまり意識していない」「意識していない」



卒業生調査は1999年～2022年までの間に全11回実施しており、いずれもの調査でも、年齢が高い層ほど、意識の度合いが高くなっている。

世代の差なのか、個人の差によるものなのか、検証が求められていた。質保証の新たな仕組みの中で、個人内の経年比較ができるようになったことで、2022年度の調査で初めて、Mastery for Serviceへの意識の程度が個人内でも有意に高まっていることが明らかとなった。

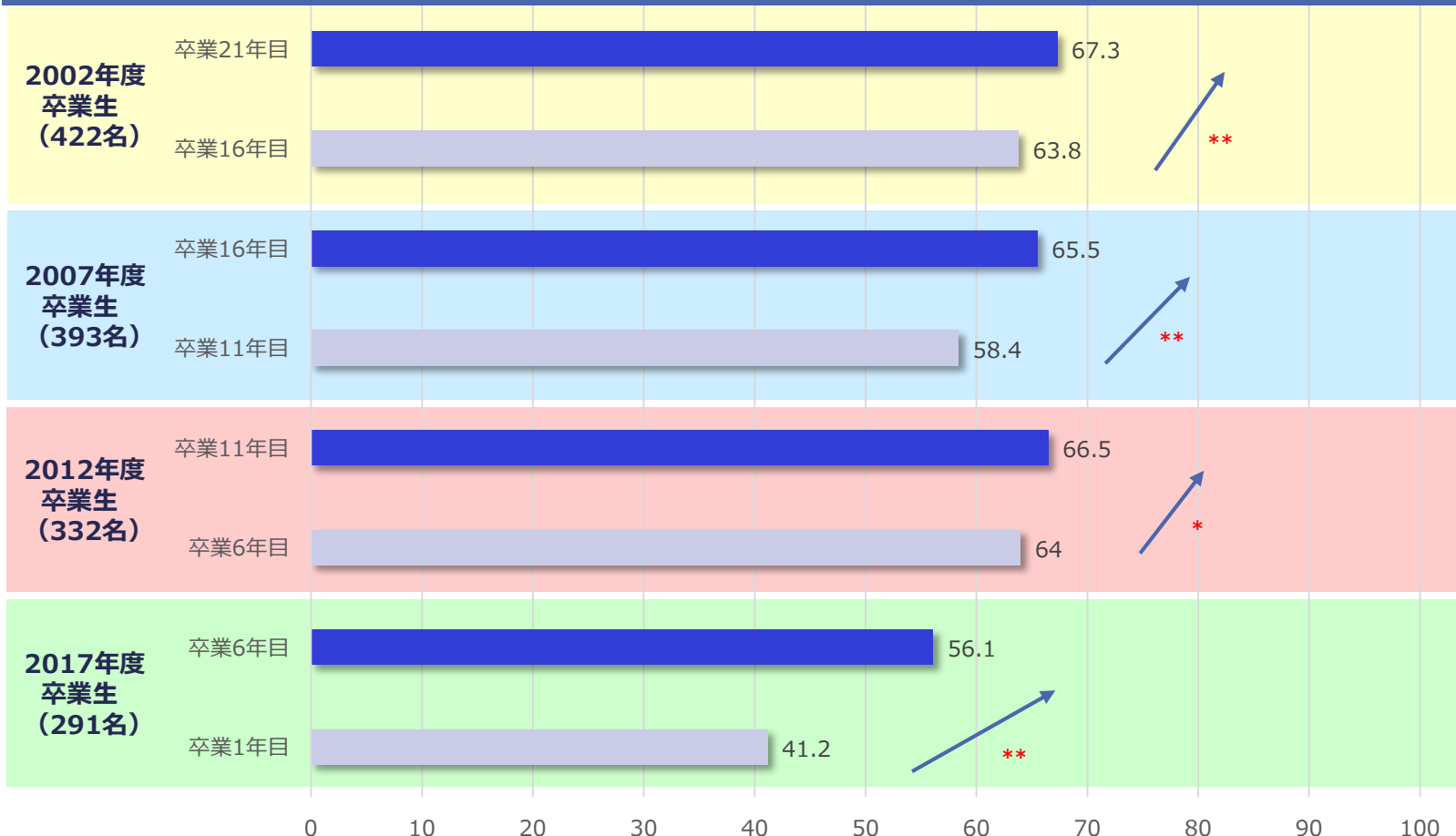
(n=8,587)

「意識している」「ある程度意識している」と回答した割合

Mastery for Serviceへの意識の浸透

(’17年度・’22年度卒業生調査の同一人物の比較データより)

2017年度・2022年度 卒業生調査 個人内比較



ウィルコクソンの符号順位検定 **: p<.01 * : p<.05

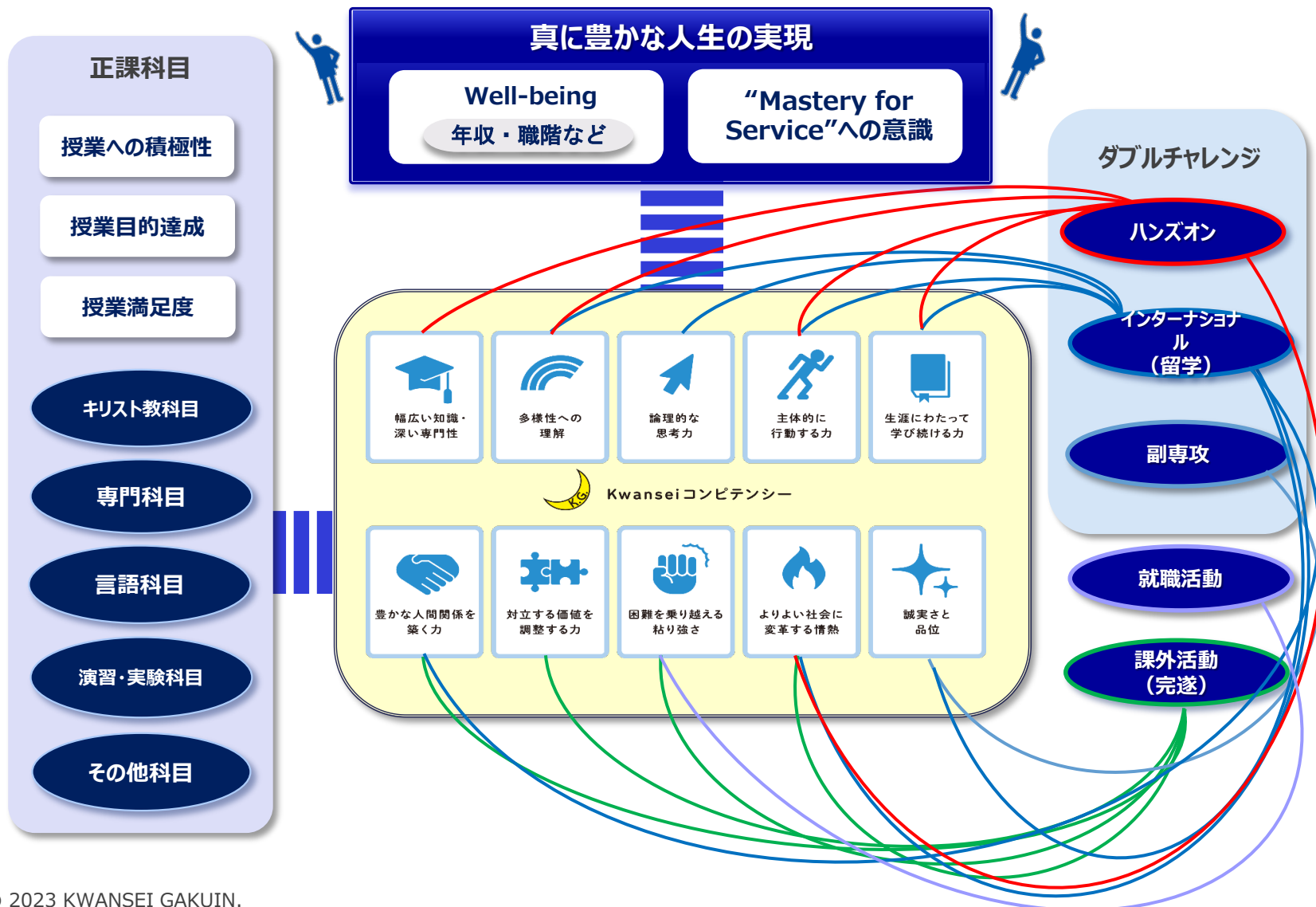
「意識している」「ある程度意識している」と回答した割合

卒業年度	U値	P値	調査実施	n	平均値	信頼区間下限	信頼区間上限	標準誤差	標準偏差
2002	25,468	**	2017	422	2.62	2.53	2.70	0.05	0.76
			2022	422	2.87	2.77	2.98	0.06	0.92
2007	17,154	**	2017	393	2.62	2.51	2.73	0.07	0.96
			2022	393	2.80	2.68	2.92	0.07	1.02
2012	15,741	*	2017	322	2.49	2.37	2.60	0.07	0.89
			2022	322	2.77	2.64	2.89	0.07	0.95
2017	17,602	**	2017	291	2.63	2.53	2.73	0.05	0.75
			2022	291	2.89	2.77	2.90	0.07	0.92

各種調査結果から見えてきたこと

3) 大学での多様な学びと「真に豊かな人生」の関係

正課・正課外の多様な学びがKwanseiコンピテンシーを高め、「真に豊かな人生」へつながる



ご清聴ありがとうございました。



お問い合わせ：学校法人関西学院 総合企画部IR室 SGU_Sympo_2023@ml.kwansei.ac.jp

Appendix (1) :
Kwanseiコンピテンシー獲得度と正課・課外の学び (回帰分析の結果)

Kwanseiコンピテンシーの獲得度と授業科目

(’22年度授業評価アンケートより)



線形回帰分析

目的変数：Kwanseiコンピテンシーの授業内の獲得度

説明変数：

授業に対する積極性（「あなたはこの授業に対して積極的に取り組みましたか？」/そう思う〜どちらともいえない〜思わない（5件法））

授業目的達成（「シラバスに示されたこの授業の目的や到達目標を達成できたと思いますか？」/そう思う〜どちらともいえない〜思わない（5件法））

授業満足度（「あなたはこの授業に満足していますか？」/そう思う〜どちらともいえない〜思わない（5件法））

授業科目区分（キリスト教科目、学部学科専門科目、言語科目、演習・実験科目、その他科目 ※ベースレベル「言語科目」）

※ 共変量として、開講責任部署・開講学期・GPAスコアについては統制。

区分	コンピテンシー名称	変数	係数	t値	P値	ベースレベル	区分	コンピテンシー名称	変数	係数	t値	P値	ベースレベル
知識	幅広い知識・深い専門性	(Intercept)	1.24	76.04	**		能力	論理的な思考力	(Intercept)	1.24	69.37	**	
		授業に対する積極性	0.09	23.73	**				授業に対する積極性	0.10	22.61	**	
		授業目的達成度	0.19	45.96	**				授業目的達成度	0.19	41.03	**	
		授業満足度	0.16	42.11	**				授業満足度	0.12	29.28	**	
		キリスト教科目	0.04	2.92	*	言語科目			キリスト教科目	0.04	2.66	*	言語科目
		その他科目	0.06	7.05	**	言語科目			その他科目	0.09	9.07	**	言語科目
	多様性への理解	演習・実験科目	0.15	12.93	**	言語科目		演習・実験科目	0.29	23.11	**	言語科目	
		専門科目	0.16	22.53	**	言語科目		専門科目	0.16	20.76	**	言語科目	
		(Intercept)	1.36	70.76	**			主体的に行動する力	(Intercept)	1.20	61.25	**	
		授業に対する積極性	0.07	15.87	**				授業に対する積極性	0.14	29.39	**	
		授業目的達成度	0.19	37.04	**				授業目的達成度	0.19	36.91	**	
		授業満足度	0.15	34.39	**				授業満足度	0.11	23.90	**	
キリスト教科目	0.23	14.28	**	言語科目	キリスト教科目	-0.07	-4.17		**	言語科目			
その他科目	0.01	0.94		言語科目	その他科目	0.01	0.48			言語科目			
資質	困難を乗り越える粘り強さ	演習・実験科目	-0.05	-4.12	**	言語科目	演習・実験科目	0.16	11.72	**	言語科目		
		専門科目	-0.01	-1.44		言語科目	専門科目	-0.10	-11.79	**	言語科目		
		(Intercept)	1.29	65.96	**		生涯にわたって学び続ける力	(Intercept)	1.05	57.38	**		
		授業に対する積極性	0.14	30.24	**			授業に対する積極性	0.13	30.08	**		
		授業目的達成度	0.19	36.91	**			授業目的達成度	0.19	39.08	**		
		授業満足度	0.08	18.54	**			授業満足度	0.15	35.09	**		
	キリスト教科目	0.01	0.77		言語科目	キリスト教科目		0.05	3.10	*	言語科目		
	その他科目	0.04	3.89	*	言語科目	その他科目		0.11	11.22	**	言語科目		
	よりよい社会に変革する情熱	演習・実験科目	0.17	12.38	**	言語科目	演習・実験科目	0.07	5.85	**	言語科目		
		専門科目	-0.04	-4.68	**	言語科目	専門科目	0.03	4.30	**	言語科目		
		(Intercept)	1.12	54.12	**		豊かな人間関係を築く力	(Intercept)	1.29	60.79	**		
		授業に対する積極性	0.09	17.81	**			授業に対する積極性	0.11	21.91	**		
授業目的達成度		0.19	35.46	**		授業目的達成度		0.17	30.47	**			
授業満足度		0.13	27.04	**		授業満足度		0.14	28.60	**			
キリスト教科目	0.24	13.46	**	言語科目	キリスト教科目	-0.01		-0.70		言語科目			
その他科目	0.22	19.76	**	言語科目	その他科目	-0.12		-10.16	**	言語科目			
誠実さと品位	演習・実験科目	0.11	7.77	**	言語科目	演習・実験科目	0.00	0.02		言語科目			
	専門科目	0.14	15.26	**	言語科目	専門科目	-0.22	-23.57	**	言語科目			
	(Intercept)	1.19	57.07	**		対立する価値を調整する力	(Intercept)	1.21	58.56	**			
	授業に対する積極性	0.09	18.19	**			授業に対する積極性	0.08	17.12	**			
	授業目的達成度	0.19	34.84	**			授業目的達成度	0.18	34.46	**			
	授業満足度	0.12	25.47	**			授業満足度	0.13	27.09	**			
キリスト教科目	0.22	12.55	**	言語科目	キリスト教科目		0.24	14.01	**	言語科目			
その他科目	0.07	6.17	**	言語科目	その他科目		0.06	5.58	**	言語科目			
	演習・実験科目	0.04	2.95	*	言語科目	演習・実験科目	0.09	6.07	**	言語科目			
	専門科目	0.00	-0.39		言語科目	専門科目	0.05	5.95	**	言語科目			

Kwanseiコンピテンシーの獲得度に影響のある学びの経験

(’22年度卒業時調査より)



順序ロジスティクス回帰分析

目的変数：卒業時点のKwanseiコンピテンシーの獲得度

説明変数：1) ダブルチャレンジプログラムを修了したかどうか

(インターナショナル(留学) / 副専攻プログラム / ハンズオンラーニングプログラム)

2) 演習科目を履修(離脱・完遂)したかどうか

3) 課外活動に参加(離脱・完遂)したかどうか

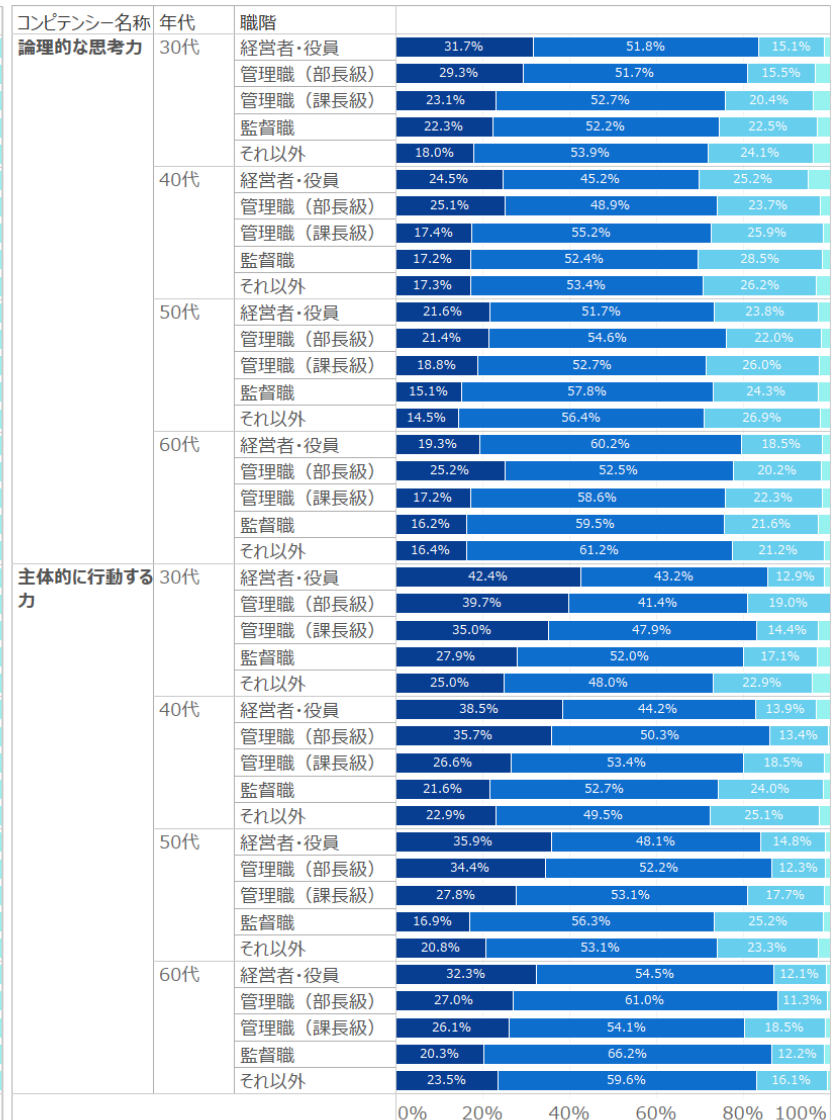
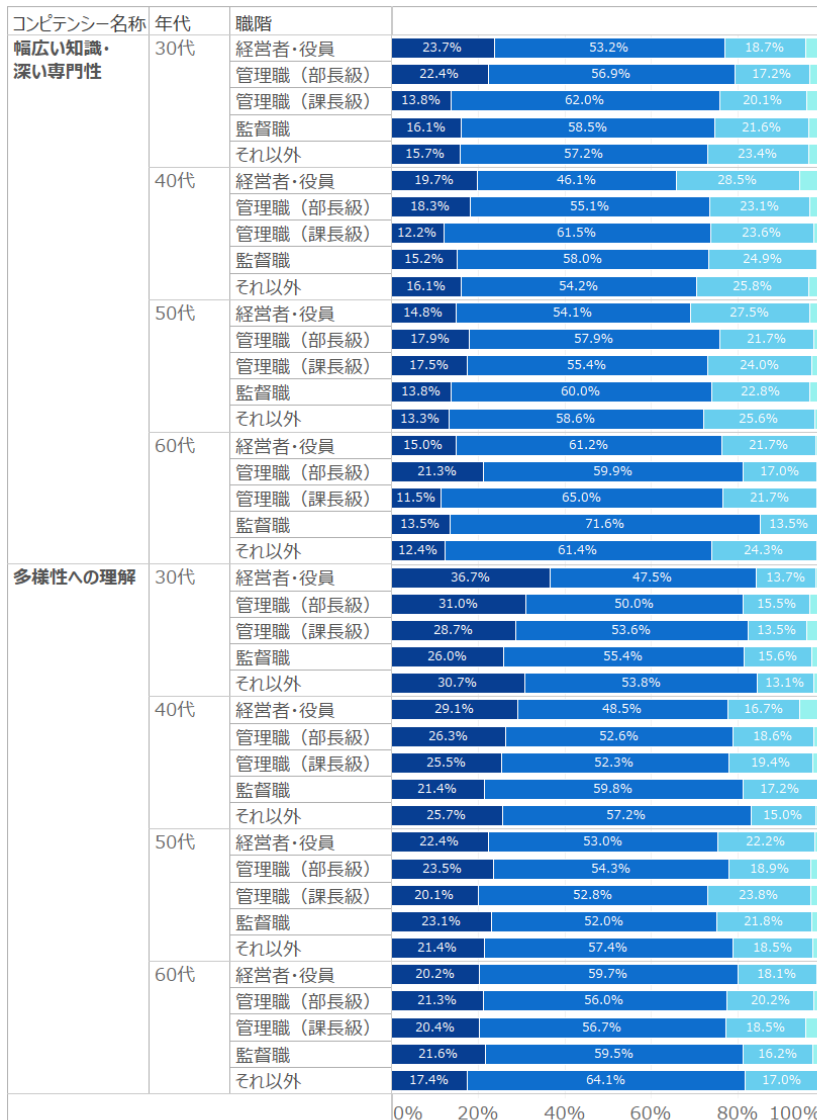
※共変量として、所属学部・性別・入試種別・入学志望度・高校生時点の評価(評定)・在学中の成績(通算修得数ランク/GPAランク)については制御。

区分	コンピテンシー	変数	オッズ比	係数	P値	ベースレベル	区分	コンピテンシー	変数	オッズ比	係数	P値	ベースレベル
知識	幅広い知識・深い専門性	(Intercept)	4.746	1.557**			能力	論理的な思考力	(Intercept)	6.018	1.795**		
		インターナショナル参加: TRUE	1.198	0.190	FALSE	インターナショナル参加: TRUE			1.492	0.400*	FALSE		
		ハンズオン参加: TRUE	1.474	0.388**	FALSE	ハンズオン参加: TRUE			1.117	0.111	FALSE		
		副専攻参加: TRUE	1.032	0.031	FALSE	副専攻参加: TRUE			1.183	0.168	FALSE		
		演習科目(卒業研究): 未履修	0.632	-0.458	履修完遂	演習科目(卒業研究): 未履修			1.588	0.463	履修完遂		
		演習科目(卒業研究): 履修離脱	0.790	-0.235	履修完遂	演習科目(卒業研究): 履修離脱			0.669	-0.402	履修完遂		
	多様性への理解	課外活動(部活動): 完遂	0.921	-0.082	不参加	課外活動(部活動): 完遂		1.013	0.012	不参加			
		課外活動(部活動): 途中離脱	0.874	-0.134	不参加	課外活動(部活動): 途中離脱		0.809	-0.212	不参加			
		(Intercept)	8.031	2.083**		(Intercept)		4.170	1.428**				
		インターナショナル参加: TRUE	1.930	0.657**	FALSE	インターナショナル参加: TRUE		1.774	0.573**	FALSE			
		ハンズオン参加: TRUE	1.428	0.356*	FALSE	ハンズオン参加: TRUE		1.549	0.437**	FALSE			
		副専攻参加: TRUE	0.839	-0.176	FALSE	副専攻参加: TRUE		1.019	0.019	FALSE			
資質	困難を乗り越える粘り強さ	演習科目(卒業研究): 未履修	0.597	-0.516	履修完遂	演習科目(卒業研究): 未履修	0.852	-0.160	履修完遂				
		演習科目(卒業研究): 履修離脱	0.500	-0.693*	履修完遂	演習科目(卒業研究): 履修離脱	1.027	0.026	履修完遂				
		課外活動(部活動): 完遂	1.202	0.184	不参加	課外活動(部活動): 完遂	1.483	0.394	不参加				
		課外活動(部活動): 途中離脱	1.028	0.027	不参加	課外活動(部活動): 途中離脱	0.955	-0.046	不参加				
		(Intercept)	6.619	1.890**		(Intercept)	4.671	1.541**					
		インターナショナル参加: TRUE	1.393	0.331	FALSE	インターナショナル参加: TRUE	1.438	0.363*	FALSE				
	よりよい社会に変革する情熱	ハンズオン参加: TRUE	1.278	0.245	FALSE	ハンズオン参加: TRUE	1.342	0.294*	FALSE				
		副専攻参加: TRUE	1.651	0.501	FALSE	副専攻参加: TRUE	0.930	-0.072	FALSE				
		演習科目(卒業研究): 未履修	0.784	-0.243	履修完遂	演習科目(卒業研究): 未履修	1.229	0.206	履修完遂				
		演習科目(卒業研究): 履修離脱	0.713	-0.338	履修完遂	演習科目(卒業研究): 履修離脱	0.917	-0.086	履修完遂				
		課外活動(部活動): 完遂	2.692	0.990**	不参加	課外活動(部活動): 完遂	1.090	0.086	不参加				
		課外活動(部活動): 途中離脱	0.849	-0.164	不参加	課外活動(部活動): 途中離脱	1.186	0.170	不参加				
誠実さと品位	(Intercept)	1.662	0.508**		(Intercept)	4.495	1.503**						
	インターナショナル参加: TRUE	1.382	0.323**	FALSE	インターナショナル参加: TRUE	1.428	0.356*	FALSE					
	ハンズオン参加: TRUE	1.353	0.302*	FALSE	ハンズオン参加: TRUE	1.087	0.083	FALSE					
	副専攻参加: TRUE	1.796	0.585**	FALSE	副専攻参加: TRUE	0.913	-0.091	FALSE					
	演習科目(卒業研究): 未履修	1.010	0.010	履修完遂	演習科目(卒業研究): 未履修	0.703	-0.352	履修完遂					
	演習科目(卒業研究): 履修離脱	0.765	-0.268	履修完遂	演習科目(卒業研究): 履修離脱	0.575	-0.554*	履修完遂					
豊かな人間関係を築く力	課外活動(部活動): 完遂	1.513	0.414**	不参加	課外活動(部活動): 完遂	1.655	0.504*	不参加					
	課外活動(部活動): 途中離脱	1.240	0.216	不参加	課外活動(部活動): 途中離脱	0.990	-0.010	不参加					
	(Intercept)	5.595	1.722**		(Intercept)	3.575	1.274**						
	インターナショナル参加: TRUE	1.585	0.461*	FALSE	インターナショナル参加: TRUE	1.336	0.290	FALSE					
	ハンズオン参加: TRUE	1.214	0.194	FALSE	ハンズオン参加: TRUE	1.161	0.149	FALSE					
	副専攻参加: TRUE	0.807	-0.214	FALSE	副専攻参加: TRUE	1.679	0.518	FALSE					
対立する価値を調整する力	演習科目(卒業研究): 未履修	0.951	-0.050	履修完遂	演習科目(卒業研究): 未履修	0.691	-0.370	履修完遂					
	演習科目(卒業研究): 履修離脱	1.161	0.149	履修完遂	演習科目(卒業研究): 履修離脱	0.876	-0.132	履修完遂					
	課外活動(部活動): 完遂	1.230	0.207	不参加	課外活動(部活動): 完遂	1.981	0.684**	不参加					
	課外活動(部活動): 途中離脱	0.879	-0.129	不参加	課外活動(部活動): 途中離脱	1.623	0.484	不参加					

n=2,211 P値 **: <.01 * : <.05

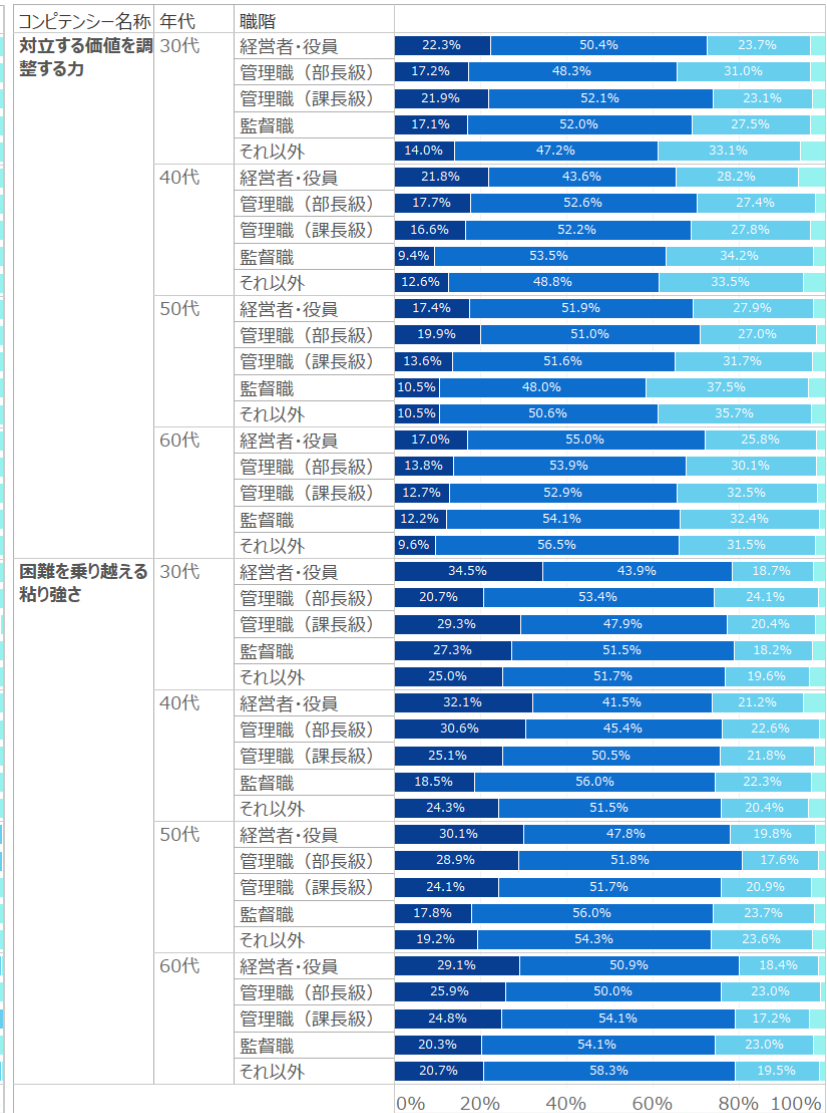
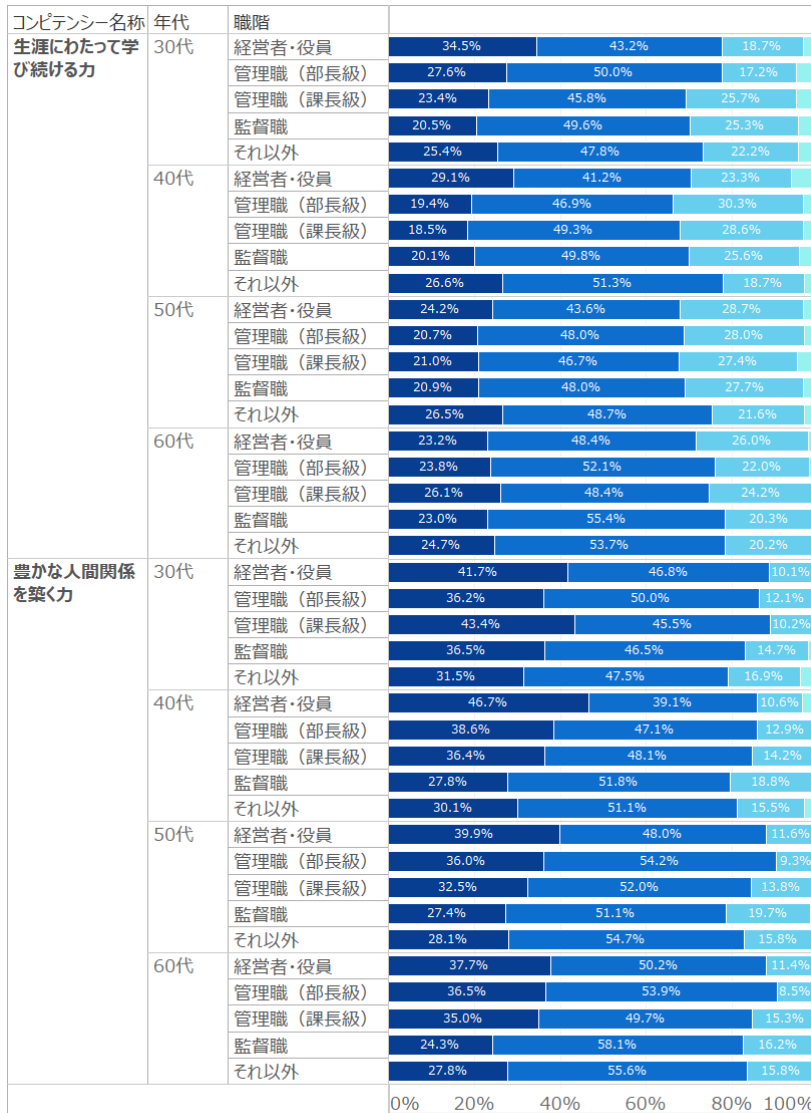
Appendix (2) :
Kwanseiコンピテンシー獲得度と職階・年収の関係 (世代別クロス集計)

Kwanseiコンピテンシー×職階 (年代別集計)



■ 大変身についている ■ やや身についている ■ あまり身についていない ■ 全く身についていない

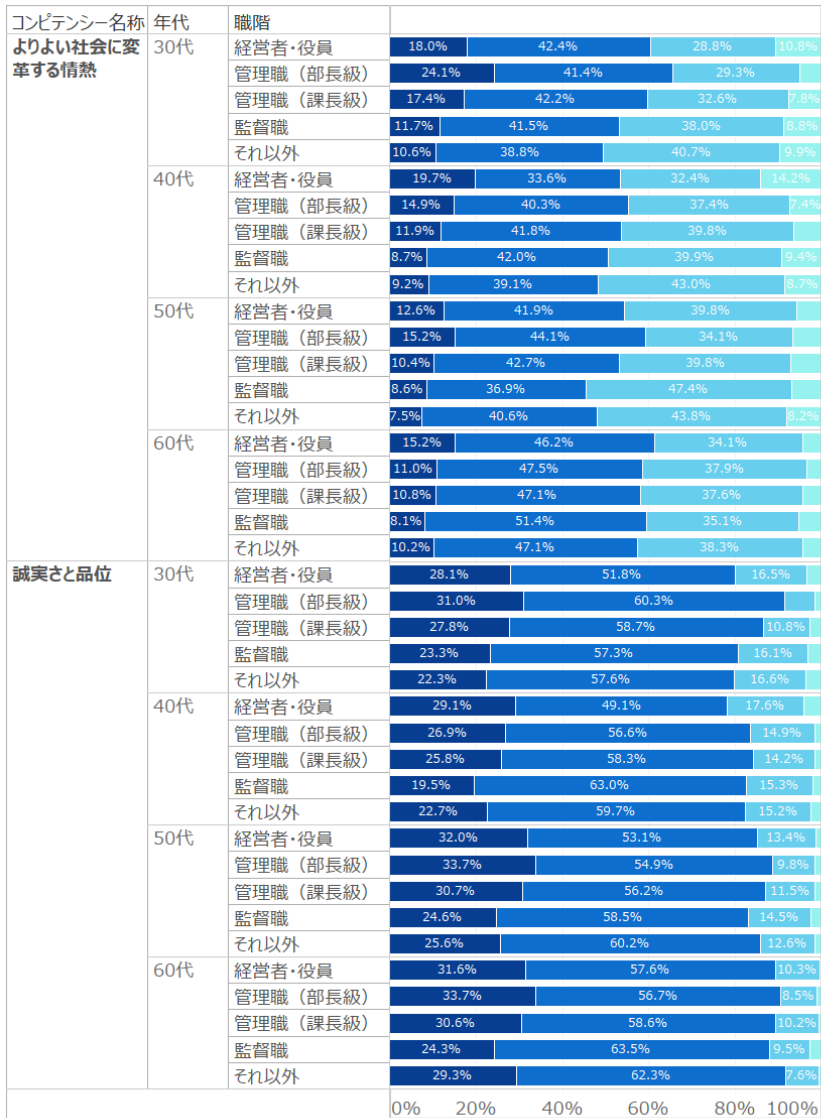
Kwanseiコンピテンシー×職階 (年代別集計)



困難を乗り越える
粘り強さ

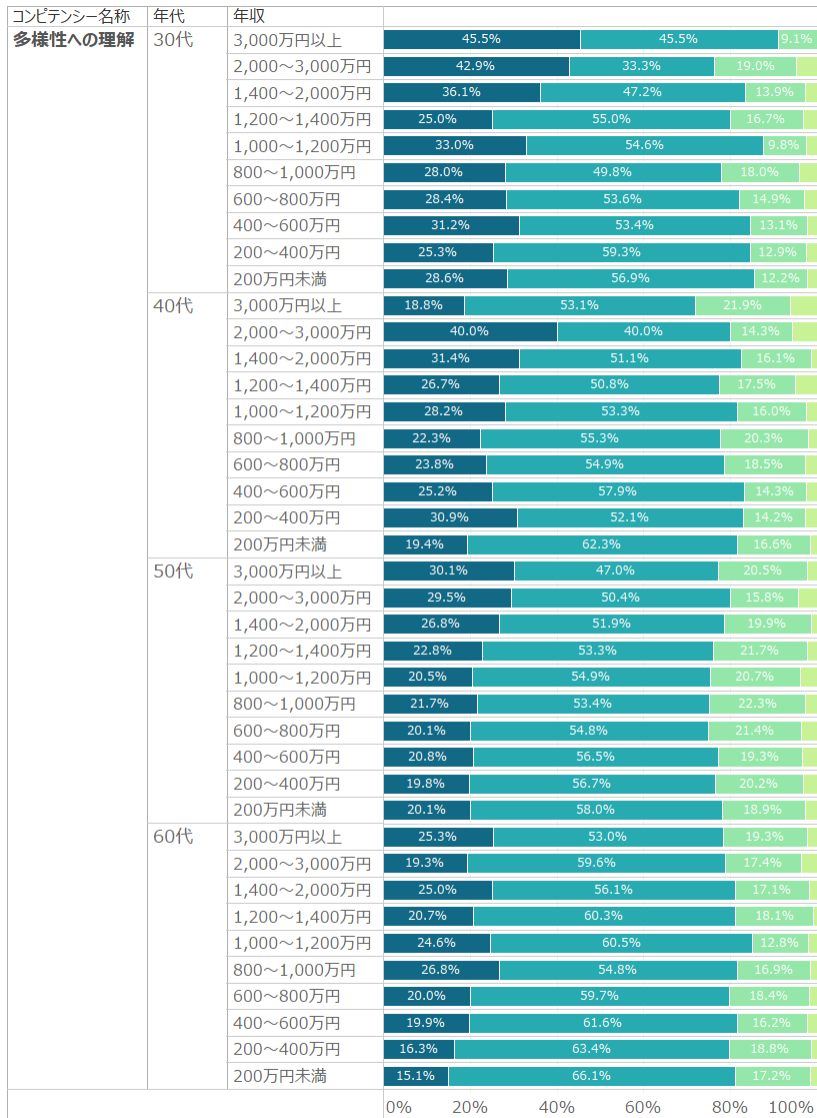
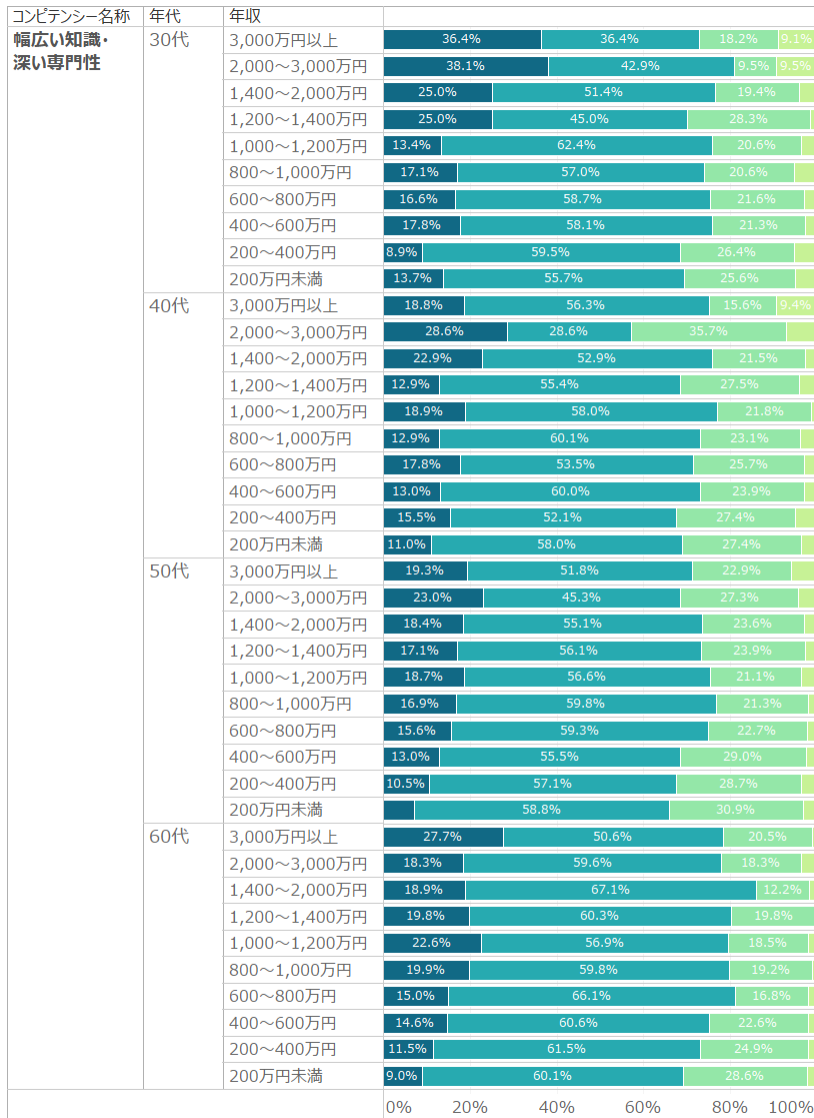
■ 大変身についている ■ やや身についている ■ あまり身についていない ■ 全く身についていない

Kwanseiコンピテンシー×職階（年代別集計）



■ 大変身についている ■ やや身についている ■ あまり身についていない ■ 全く身についていない

Kwanseiコンピテンシー×年収（年代別集計）



■ 大変身についている ■ やや身についている ■ あまり身についていない ■ 全く身についていない

Kwanseiコンピテンシー×年収（年代別集計）

コンピテンシー名称	年代	年収	割合			
論理的な思考力	30代	3,000万円以上	54.5%	45.5%		
		2,000～3,000万円	52.4%	28.6%	19.0%	
		1,400～2,000万円	29.2%	51.4%	16.7%	
		1,200～1,400万円	23.3%	53.3%	23.3%	
		1,000～1,200万円	24.2%	47.9%	23.7%	
		800～1,000万円	21.5%	53.0%	21.0%	
		600～800万円	23.3%	53.7%	19.4%	
		400～600万円	20.2%	54.6%	22.5%	
		200～400万円	15.3%	50.8%	28.8%	
		200万円未満	13.7%	56.9%	25.2%	
	40代	3,000万円以上	25.0%	50.0%	18.8%	
		2,000～3,000万円	32.9%	37.1%	24.3%	
		1,400～2,000万円	28.3%	43.9%	26.0%	
		1,200～1,400万円	17.9%	51.7%	27.1%	
		1,000～1,200万円	23.3%	52.5%	22.0%	
		800～1,000万円	17.1%	55.7%	24.5%	
		600～800万円	19.4%	48.5%	29.7%	
		400～600万円	13.9%	60.0%	23.3%	
		200～400万円	18.9%	52.1%	25.2%	
		200万円未満	14.2%	52.8%	30.2%	
	50代	3,000万円以上	27.7%	51.8%	18.1%	
		2,000～3,000万円	26.6%	51.8%	18.0%	
		1,400～2,000万円	23.8%	52.9%	20.6%	
		1,200～1,400万円	22.8%	53.0%	22.5%	
		1,000～1,200万円	20.5%	55.7%	21.6%	
		800～1,000万円	19.4%	52.7%	25.7%	
		600～800万円	16.2%	54.8%	27.0%	
		400～600万円	13.8%	57.8%	26.8%	
		200～400万円	12.1%	54.3%	28.7%	
		200万円未満	9.1%	59.5%	28.1%	
	60代	3,000万円以上	26.5%	56.6%	15.7%	
		2,000～3,000万円	18.3%	62.4%	19.3%	
		1,400～2,000万円	28.0%	57.9%	12.8%	
		1,200～1,400万円	25.9%	62.9%	11.2%	
		1,000～1,200万円	27.2%	56.4%	15.4%	
		800～1,000万円	22.2%	56.7%	19.2%	
600～800万円		16.3%	63.4%	18.4%		
400～600万円		20.2%	58.2%	19.5%		
200～400万円		15.8%	61.8%	21.1%		
200万円未満		11.4%	60.1%	26.7%		

■ 大変身についている ■ やや身についている ■ あまり身についていない ■ 全く身についていない

コンピテンシー名称	年代	年収	割合			
主体的に行動する力	30代	3,000万円以上	72.7%	27.3%		
		2,000～3,000万円	61.9%	28.6%	9.5%	
		1,400～2,000万円	40.3%	48.6%		
		1,200～1,400万円	41.7%	45.0%	11.7%	
		1,000～1,200万円	36.6%	46.4%	14.4%	
		800～1,000万円	33.9%	47.7%	14.3%	
		600～800万円	30.4%	49.7%	17.4%	
		400～600万円	25.0%	50.0%	22.0%	
		200～400万円	20.3%	46.4%	26.4%	
		200万円未満	21.0%	50.4%	25.6%	
	40代	3,000万円以上	28.1%	50.0%	18.8%	
		2,000～3,000万円	40.0%	37.1%	17.1%	
		1,400～2,000万円	40.8%	50.2%	8.5%	
		1,200～1,400万円	37.1%	46.7%	14.2%	
		1,000～1,200万円	35.6%	48.2%	15.2%	
		800～1,000万円	23.7%	53.3%	21.2%	
		600～800万円	21.3%	52.9%	23.8%	
		400～600万円	20.9%	52.4%	23.3%	
		200～400万円	25.9%	48.3%	22.1%	
		200万円未満	19.4%	48.9%	30.0%	
	50代	3,000万円以上	55.4%	36.1%		
		2,000～3,000万円	43.9%	46.0%	9.4%	
		1,400～2,000万円	41.2%	45.7%	12.2%	
		1,200～1,400万円	31.3%	54.7%	12.3%	
		1,000～1,200万円	33.3%	51.8%	13.6%	
		800～1,000万円	25.2%	55.9%	17.4%	
		600～800万円	22.9%	51.7%	24.0%	
		400～600万円	20.3%	54.3%	22.5%	
		200～400万円	20.6%	51.0%	24.3%	
		200万円未満	16.5%	52.8%	27.6%	
	60代	3,000万円以上	38.6%	53.0%	8.4%	
		2,000～3,000万円	39.4%	46.8%	12.8%	
		1,400～2,000万円	35.4%	52.4%	12.2%	
		1,200～1,400万円	31.0%	57.8%	10.3%	
		1,000～1,200万円	37.4%	54.9%		
		800～1,000万円	34.1%	53.3%	11.9%	
600～800万円		30.3%	55.0%	13.7%		
400～600万円		26.1%	58.9%	13.6%		
200～400万円		21.8%	61.9%	15.6%		
200万円未満		19.6%	57.9%	21.5%		

0% 20% 40% 60% 80% 100%

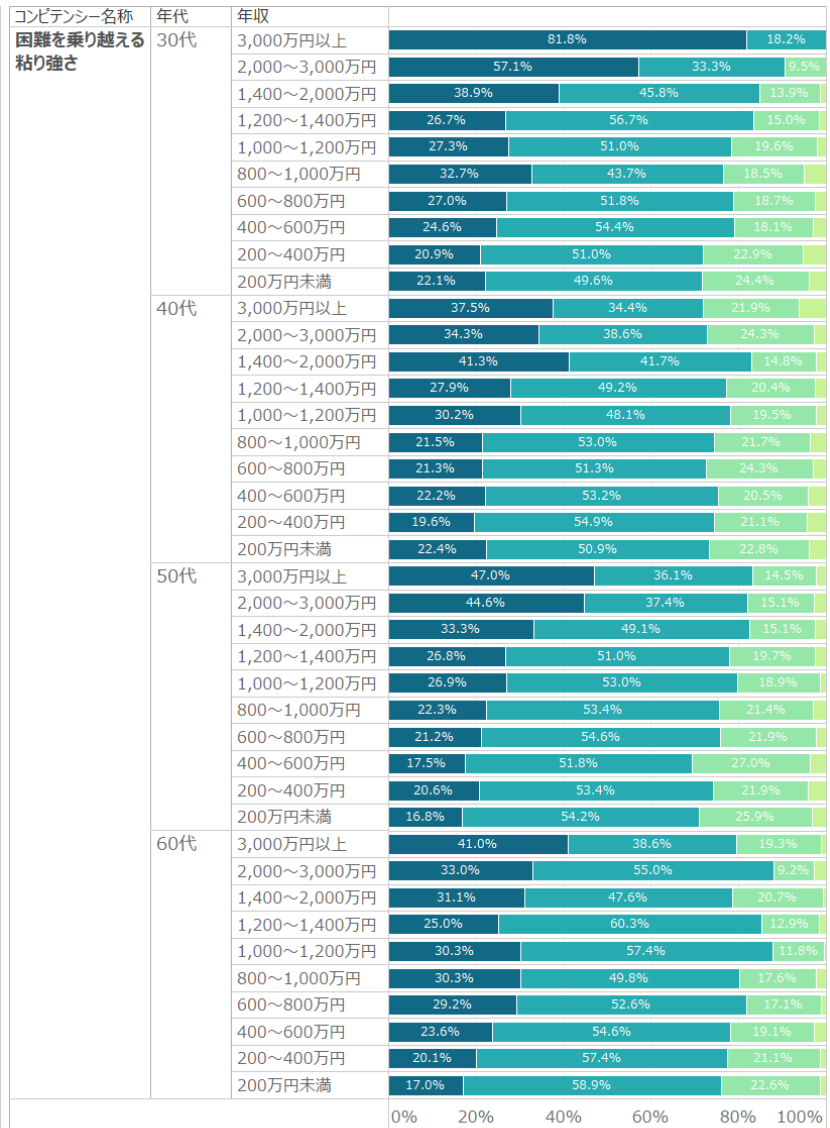
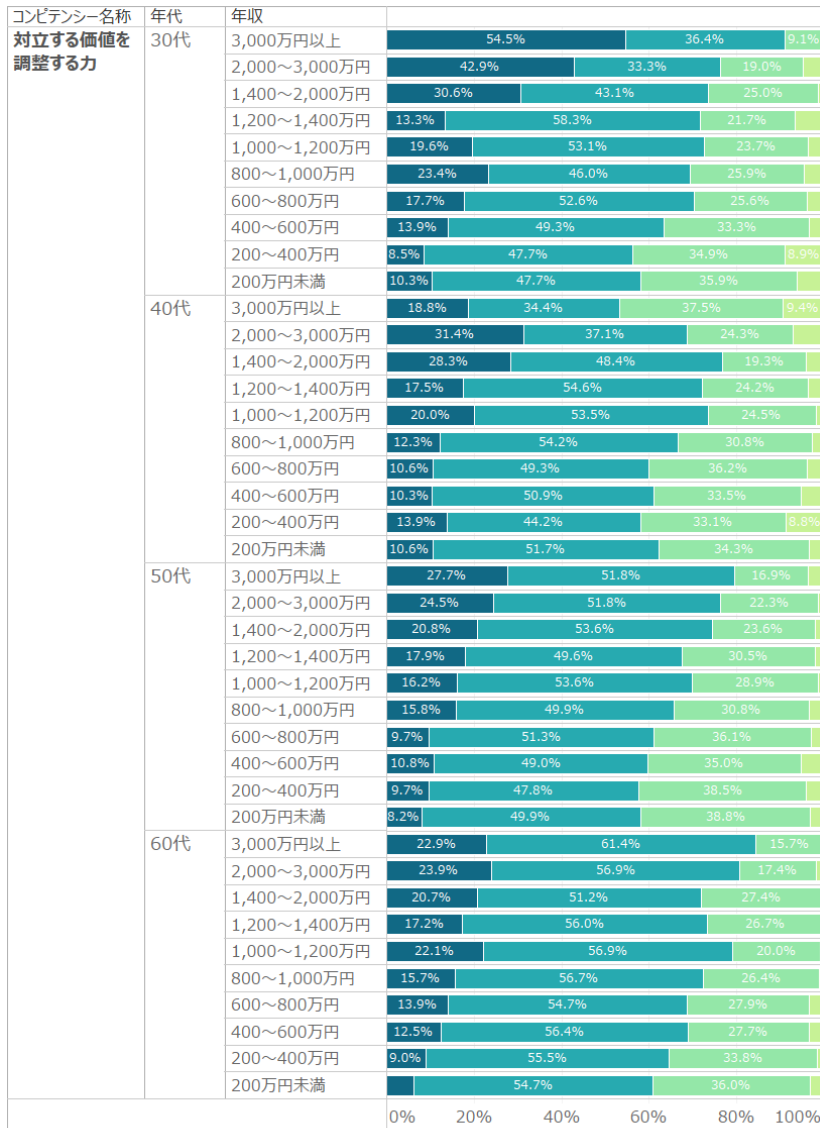
Kwanseiコンピテンシー×年収（年代別集計）

コンピテンシー名称	年代	年収	割合				
生涯にわたって学び続ける力	30代	3,000万円以上	63.6%	27.3%	9.1%		
		2,000～3,000万円	61.9%	9.5%	19.0%	9.5%	
		1,400～2,000万円	40.3%	41.7%	16.7%		
		1,200～1,400万円	30.0%	45.0%	20.0%		
		1,000～1,200万円	21.1%	46.9%	28.4%		
		800～1,000万円	23.1%	45.3%	24.1%	7.5%	
		600～800万円	23.5%	48.8%	22.5%		
		400～600万円	24.5%	49.3%	22.9%		
		200～400万円	20.5%	51.9%	22.7%		
		200万円未満	26.7%	48.1%	22.5%		
		40代	3,000万円以上	28.1%	40.6%	21.9%	9.4%
			2,000～3,000万円	31.4%	28.6%	32.9%	
	1,400～2,000万円		24.7%	45.3%	26.9%		
	1,200～1,400万円		19.6%	49.6%	26.7%		
	1,000～1,200万円		21.0%	47.3%	27.6%		
	800～1,000万円		20.3%	50.5%	25.6%		
	600～800万円		22.2%	46.3%	27.2%		
	400～600万円		24.6%	52.6%	19.0%		
	200～400万円		27.4%	49.8%	17.4%		
	200万円未満		25.2%	53.7%	18.5%		
	50代		3,000万円以上	27.7%	38.6%	26.5%	7.2%
			2,000～3,000万円	25.9%	45.3%	24.5%	
		1,400～2,000万円	21.6%	44.4%	29.8%		
		1,200～1,400万円	19.9%	47.9%	27.9%		
		1,000～1,200万円	20.8%	49.7%	26.2%		
		800～1,000万円	23.2%	44.4%	29.1%		
		600～800万円	24.0%	48.3%	24.3%		
		400～600万円	25.8%	50.5%	20.3%		
		200～400万円	30.0%	43.3%	21.5%		
		200万円未満	22.1%	51.6%	23.7%		
		60代	3,000万円以上	30.1%	39.8%	22.9%	7.2%
			2,000～3,000万円	21.1%	47.7%	26.6%	
	1,400～2,000万円		28.0%	45.1%	24.4%		
	1,200～1,400万円		22.4%	52.6%	25.0%		
	1,000～1,200万円		34.4%	44.1%	20.5%		
	800～1,000万円		30.3%	47.5%	21.1%		
	600～800万円		26.6%	50.3%	21.6%		
	400～600万円		24.8%	53.8%	19.5%		
	200～400万円		21.9%	52.9%	23.3%		
	200万円未満		24.7%	55.5%	18.6%		

コンピテンシー名称	年代	年収	割合				
豊かな人間関係を築く力	30代	3,000万円以上	72.7%	18.2%	9.1%		
		2,000～3,000万円	66.7%	19.0%	9.5%		
		1,400～2,000万円	36.1%	55.6%			
		1,200～1,400万円	36.7%	51.7%	8.3%		
		1,000～1,200万円	40.7%	45.4%	11.9%		
		800～1,000万円	41.6%	45.3%	10.5%		
		600～800万円	38.6%	46.8%	12.2%		
		400～600万円	30.6%	49.2%	17.4%		
		200～400万円	26.4%	45.1%	23.3%		
		200万円未満	30.9%	46.9%	16.8%		
		40代	3,000万円以上	34.4%	50.0%	9.4%	
			2,000～3,000万円	48.6%	31.4%	15.7%	
	1,400～2,000万円		51.1%	41.3%	7.2%		
	1,200～1,400万円		42.9%	46.3%	10.4%		
	1,000～1,200万円		40.9%	48.1%	10.1%		
	800～1,000万円		30.2%	51.7%	16.4%		
	600～800万円		29.9%	46.8%	21.0%		
	400～600万円		28.6%	50.9%	16.9%		
	200～400万円		28.7%	48.9%	17.0%		
	200万円未満		29.1%	53.2%	15.5%		
	50代		3,000万円以上	50.6%	41.0%	8.4%	
			2,000～3,000万円	43.2%	46.0%	10.1%	
		1,400～2,000万円	40.7%	48.9%	10.2%		
		1,200～1,400万円	39.0%	51.9%	8.3%		
		1,000～1,200万円	33.9%	53.0%	12.8%		
		800～1,000万円	33.1%	51.6%	13.3%		
		600～800万円	27.9%	53.9%	17.1%		
		400～600万円	27.0%	56.8%	14.0%		
		200～400万円	25.9%	52.6%	19.4%		
		200万円未満	26.6%	55.6%	16.1%		
		60代	3,000万円以上	42.2%	48.2%	8.4%	
			2,000～3,000万円	42.2%	48.6%	9.2%	
	1,400～2,000万円		39.0%	49.4%	11.6%		
	1,200～1,400万円		37.1%	53.4%	9.5%		
	1,000～1,200万円		39.0%	51.3%	9.2%		
	800～1,000万円		41.8%	46.0%	11.5%		
	600～800万円		35.8%	50.8%	12.1%		
	400～600万円		32.1%	53.3%	13.2%		
	200～400万円		26.1%	56.4%	16.8%		
	200万円未満		23.8%	58.4%	17.3%		

■ 大変身についている ■ やや身についている ■ あまり身についていない ■ 全く身についていない

Kwanseiコンピテンシー×年収（年代別集計）



■ 大変身についている ■ やや身についている ■ あまり身についていない ■ 全く身についていない

Kwanseiコンピテンシー×年収（年代別集計）

コンピテンシー名称	年代	年収	割合			
よりよい社会に 変革する情熱	30代	3,000万円以上	36.4%	36.4%	18.2%	9.1%
		2,000～3,000万円	28.6%	38.1%	19.0%	14.3%
		1,400～2,000万円	26.4%	31.9%	38.9%	
		1,200～1,400万円	11.7%	55.0%	25.0%	8.3%
		1,000～1,200万円	19.1%	41.8%	30.9%	8.2%
		800～1,000万円	13.3%	43.7%	35.7%	7.2%
		600～800万円	14.2%	41.1%	36.6%	8.1%
		400～600万円	10.4%	41.6%	39.0%	9.0%
		200～400万円		32.9%	44.7%	15.5%
	200万円未満	8.0%	36.6%	45.8%	9.5%	
	40代	3,000万円以上	18.8%	31.3%	31.3%	18.8%
		2,000～3,000万円	20.0%	25.7%	38.6%	15.7%
		1,400～2,000万円	22.4%	35.4%	34.1%	8.1%
		1,200～1,400万円	11.7%	42.9%	37.5%	7.9%
		1,000～1,200万円	15.0%	41.4%	35.8%	7.8%
		800～1,000万円	11.5%	42.6%	38.5%	7.4%
		600～800万円	9.0%	40.6%	42.2%	8.2%
		400～600万円	9.6%	41.0%	39.7%	9.6%
		200～400万円	11.0%	34.1%	42.6%	12.3%
	200万円未満		40.7%	44.8%	8.6%	
	50代	3,000万円以上	19.3%	43.4%	30.1%	7.2%
		2,000～3,000万円	19.4%	47.5%	26.6%	
		1,400～2,000万円	18.1%	42.4%	33.5%	
		1,200～1,400万円	13.4%	44.7%	36.5%	
		1,000～1,200万円	11.6%	44.1%	38.0%	
		800～1,000万円	10.5%	43.8%	39.4%	
		600～800万円	10.4%	39.0%	42.4%	8.2%
		400～600万円		37.5%	48.3%	7.3%
		200～400万円	8.1%	38.1%	42.9%	10.9%
	200万円未満		38.6%	47.0%	11.0%	
60代	3,000万円以上	18.1%	49.4%	27.7%		
	2,000～3,000万円	18.3%	42.2%	33.0%		
	1,400～2,000万円	16.5%	50.0%	31.7%		
	1,200～1,400万円	14.7%	48.3%	34.5%		
	1,000～1,200万円	20.5%	46.7%	31.8%		
	800～1,000万円	18.8%	47.9%	29.5%		
	600～800万円	12.6%	45.0%	36.6%		
	400～600万円	12.6%	47.1%	34.9%		
	200～400万円	8.3%	48.4%	39.3%		
200万円未満	9.1%	43.7%	42.3%			

コンピテンシー名称	年代	年収	割合		
誠実さと品位	30代	3,000万円以上	45.5%	45.5%	9.1%
		2,000～3,000万円	38.1%	42.9%	14.3%
		1,400～2,000万円	30.6%	54.2%	12.5%
		1,200～1,400万円	25.0%	55.0%	18.3%
		1,000～1,200万円	30.4%	54.6%	9.8%
		800～1,000万円	26.4%	55.8%	14.3%
		600～800万円	23.8%	56.7%	16.0%
		400～600万円	23.5%	57.9%	16.1%
		200～400万円	17.9%	58.2%	19.4%
	200万円未満	19.1%	63.7%	13.4%	
	40代	3,000万円以上	28.1%	37.5%	28.1%
		2,000～3,000万円	34.3%	40.0%	22.9%
		1,400～2,000万円	31.8%	54.7%	11.2%
		1,200～1,400万円	28.3%	53.8%	16.3%
		1,000～1,200万円	26.5%	59.5%	12.1%
		800～1,000万円	23.4%	59.6%	14.5%
		600～800万円	21.8%	58.5%	17.2%
		400～600万円	20.9%	61.3%	14.7%
		200～400万円	22.1%	60.6%	13.9%
	200万円未満	22.2%	62.1%	14.7%	
	50代	3,000万円以上	39.8%	49.4%	10.8%
		2,000～3,000万円	39.6%	49.6%	10.1%
		1,400～2,000万円	39.2%	47.9%	10.7%
		1,200～1,400万円	31.1%	55.6%	11.7%
		1,000～1,200万円	29.5%	59.3%	10.0%
		800～1,000万円	29.5%	57.9%	11.3%
		600～800万円	27.1%	58.4%	12.6%
		400～600万円	23.3%	59.3%	15.0%
		200～400万円	28.3%	54.3%	15.8%
	200万円未満	24.0%	60.7%	13.2%	
60代	3,000万円以上	34.9%	53.0%	10.8%	
	2,000～3,000万円	37.6%	52.3%	9.2%	
	1,400～2,000万円	37.8%	53.7%	8.5%	
	1,200～1,400万円	28.4%	63.8%	7.8%	
	1,000～1,200万円	40.0%	52.8%	7.2%	
	800～1,000万円	38.3%	54.4%		
	600～800万円	30.0%	60.8%	8.4%	
	400～600万円	33.1%	58.5%		
	200～400万円	27.5%	62.7%	9.1%	
200万円未満	22.9%	66.7%	9.5%		

■ 大変身についている ■ やや身についている ■ あまり身についていない ■ 全く身についていない